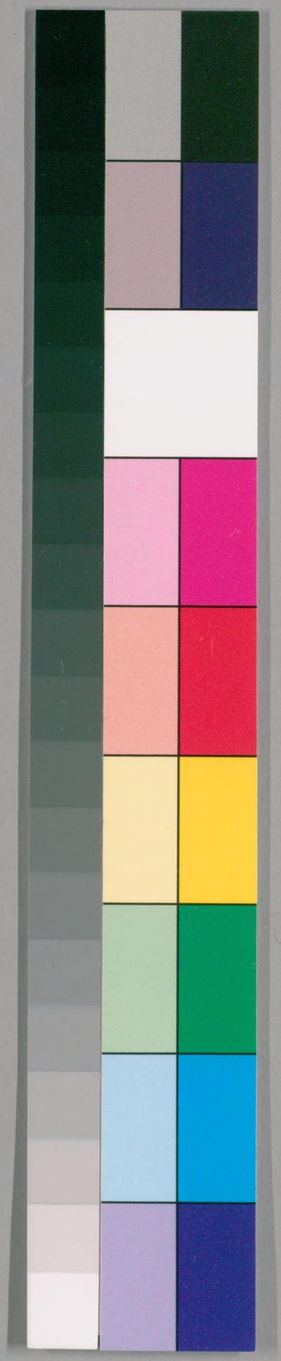


国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』 請求記号 せ-61
ガラス使用

別
61

禮儀類典抄出

国立国会図書館　　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号　せ-61

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61

ガラス使用

礼儀類典序

在昔 神祖 聖宗之建邦也惟敬以奉天允而臣士之奉
若也惟恪以御治二个勤恒靡皇而其畏保励翼同寅
恕慕之実積而溢表流融顕著遂将形而為視瞻容
色之則動而為進退揖揚之度飾以為儀容車衍之制
文章列以為觴豆醴羞之盛而以之格鬼神而紀人類以之
邦而家而卿位置朩品識害攸之亡悉其修之文恭乖繇之
衆益作而恩其修之文恭乖繇之後徳威
二丗屏晉以後之臣敬承規模之中以忘厥初

明治 45.3.14 購求

伴氏所蔵

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』 請求記号 せ-61　ガラス使用

八宮奏綱（何）以（之）張尊卑厝（措）差（ヲ）恰陽理矣此（ノ）之
謂（ナリ）矣＝大宮＝延喜之官秩（ヲ）之
同用八連（ヲ）大中（ニ）拯（ヲ）極（ヲ）職（ニ）皇図千儀（ヲ）斯
年（ニ）使義（ニ）軼（ヲ）遠（ニ）漢唐（ヲ）徳（ニ）儀（ヲ）爵（ヲ）施（ニ）
我先人風被（ヲ）史（ニ）思（ヲ）松右（ヲ）今矣（ニ）
典（ヲ）在（ニ）籍（ヲ）則（ニ）有（ル）賭（ヲ）夫（ニ）教（ヲ）（ニ）其（ノ）功（ヲ）（ノ）
矣（ニ）松（ノ）諸（ヲ）之（ヲ）変（ニ）士（ニ）諸（ニ）線（ヲ）其（ノ）事（ニ）能（ク）領（ヲ）匡（ヲ）記
蘇（ニ）氏（ヲ）初（ニ）氏（ヲ）次（ヲ）第（ニ）（ノ）松（ニ）又（ヲ）多（ヲ）者（ヲ）右（ヲ）（ニ）（ノ）
家（ニ）所（ニ）載（ヲ）送（ル）（ニ）周（ニ）倪（ヲ）殺（ヲ）頃（ニ）俄（ニ）
令書（ヲ）既（ニ）成（ヲ）為（ニ）至（ニ）周（ニ）倪（ヲ）（ノ）
徴（ヲ）（ニ）代（ニ）殊（ヲ）人（ヲ）（ニ）（ノ）祓（ヲ）詳（ヲ）（ニ）（ノ）
典（ヲ）（ノ）懐（ヲ）人（ヲ）乃（ヲ）為（ニ）（ノ）（ヲ）（ニ）（ノ）
（ニ）則（ニ）標（ヲ）名（ヲ）（ニ）（ノ）則（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）
甚（ニ）（ノ）線（ヲ）（ニ）恒（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）
二十（ヲ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）
矣（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）
（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）
（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）
（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）（ニ）（ノ）

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　ガラス使用

道義之遺徳而所以
感仍參之卜筮不協諸人援引呈上先人
心而茲擇吉修周公騰辭曜宇之古伴
之格式兼用猶神王矛先猶二難平編
纂試平庶延俾之小補祖宗之
神霊而俾則先人亦
安寧於冥冥之中矣

寛永七庚寅年

幸相公仰依宣旨令調條條事

凡例

一凡此書大凱備美受口史其先祖伊勢
西宮記江次第二引之書候猶名題文盛仍旧慈寧
通二平安而於其平安

一凡年号之記者称此記若民部
之類名題記者共未詳者ハ
年記之義

一凡正月某日或称某日十二月或廷及二月者
倶号其日ハ之正月称此月儀之
義

一凡修理職自余別省参
一凡諸陵寮ハ陵墓ハ寺領ハ
一凡諸陵墓之義ハ寺領者

一凡奉書一条中攬ハ他ヲ若ハ其係没句一段前條ニ准ス

一〇凡職官関係ノ文ニハ奉ノ字ヲ用ヒ其ノ他ハ皆ナ奉ヲ用ヒ

而シテ其記載事項ニ異同アル時ハ其所記ノ最詳者ヲ取ル

類下ニ注某書ニ見某部ニ云云ト記スルモノハ複出ヲ省ク為ニ

而已ニシテ其ノ文ヲ全ク省クニハ非ス

至ニ某ノ如シ若ハ如ク者ハ其ノ文ヲ全ク省クニハ非ス

四字ノ如キ之ニ注ニ某書不記ノ某ノ部ニ相当ス見ニ

四字ノ如キ之ニ注ニ某書ニ某ノ部ニ詳ナリト云ヒ記ス

一凡関文據書ハ其ノ五字ヨリ止至ニ行ニ行ニ及ヘルヲ

八九ヘ頃之有ニ衍誤者ハ〇ヲ加フ

一凡標書欲ハ便検閲ニ也古人所自著者ハ別之

一凡所ニ采録旧記従字改正ス而辞ノ要ヲ

嚢蝕断爛如ハ謄写ニ更記ニ記シテ其ノ始末ヲ

日浮善ヲ行ス

毎条頭ニ下ス

推中納言従三位臣源朝臣光圀纂輯

（綱條ノ事ハ別ニ）
（トアリ）

中右記　寛治二年　（裏書）　（朱天王寺十二）

親長卿記　文明十七年二月一日　晴　（朱）

一従今日被始行御拝　武士一人供奉　（朱）

（朱）

清性法師日記　任例可行之由　（朱）

（朱）

（朱）

雅忠

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　ガラス使用

弘安九年記云百手依一年社春宮度取一治寄一後取一手取
土器一受之飲之畢而次女官女将参二欤如初此時進入
し後女官人三人三献子階自発二祝言 阿良乗之
良乗 ●玉海建久十年三宮方々某方
正親之上天信包下簾中引如礼式不下格子且共元正間下有
事忌之者也宮方同前 ●法性寺関白記云元永元年
五六日不射西廂依穢又洗脚事如例入
深心院云々記文永二年 建冏如例 二日小雪如恒 三日雪なれ
如日来 ●竹葉抄云天行記 三云三二 此旨出 依例
記 就元三三夜各の条 受酒之盃於座後次童子被下之 十
字共後

加盃取 十字 一如例入 懐中 ●

●春三云々 支那記 支那王記 元文十年正月一日有多
参次第之々毎度後者 後家独奉仕
人多々依職役 之者 ●九月四日天皇
之言也 一 沙門 寺々僧侶 ●文永三年
所在見云之上不密荒合事 又面前 服到来 ●
●着成礼沙汰 三七三二 小野宮出 如左 本
事之中の事 於仗 或云 仗の儀 之々 方々の
雑
り玉上春宮 アゲビンヅラ 人臣 髻 及上 サゲビンヅラ 人臣 アゲビンヅラ 従先 依座 玉上
入髻 小髻 在 之 有不

●春五 二 小野宮記 元永二 玉上出 本
●着成礼沙汰 三七三二 小野宮出 如左 本
事之中の事 於仗 或云 仗の儀 之々 方々の
雑
り玉上春宮 アゲビンヅラ 人臣 髻 及上 サゲビンヅラ 人臣 アゲビンヅラ 従先 依座 玉上
入髻 小髻 在 之 有不

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』 請求記号 せ-61
ガラス使用

東宮ノ頂儀同ク宣命ヲ宣ヒ畢テ仲儀自北門ヨリ入テ
三ノ三リ ニ日ニ今日東宮ノ方ノ武儀ノ間ニ
行ヒ燧儀ニ於テハ内弁ノ宣ヒ畢テ後ニ
其信ヲ授ク 三献ノ
細ハ雀ニ合ニ 雅亮維賢 執筆
翌日儀有ル
宣ヒ 三ノ下ノ大夫猶ヲ取儀ニ
儀ニ於テ 七位ノ侍二年以上ノ
ノ内ニ於テ 主上ノ
三九 当日ノ頂ニ祝言ヲ白ス位カラ
ヘ 当日ノ頂ニ祝言ヲ白ス位カラ令章カラ
大祓其ノ一結ニ 当日ノ頂ニ祝言ヲ白ス位カラ令章カラ
宣ノ一枚ヲ引授ス 当日ノ頂ニ祝言ヲ白ス位カラ令章カラ
ニ於テ 女官云宮ニ侍ル侍ル
ル 左手ニ結ヒ 直ニ授ク
六位ナリ ニ 宣ヒ及ク 令奉ニ
那ノ武儀ヲ 加入ノ
特ニ叙 加入ノ 一人 大納言
ニ云宮ニ 一人 中ノ
火ヲ供シ 奉ル 余ニ
有ル 次ノ 一枚ヲ 干ル
一ニ 中ノ
大ニ及ク

●巻十 元日節会 若記 七瀧馬牽氷様奏服
記曰 兵仗 無口 插奏紙 石文上也 近年以兵是大和
云々 ●同 大弁紀 参侍同 擬此儀 服
三様 五位 甲 我文可宣 ●同 召左
給宣命 ●同 七位 同門 後 召会人之色 極
基長 不同 古侍 ●承暦記 七位 一
次同 插奏 歌笛之声 ●貴記
云々 侍之 ●玉燭 次左 会按笏
石家也 其詞 次大夫 ●同 次同 次百会人 次同
次 次少納言 入同 奏宣 二ウ 一同 召 召 向 召 召 宣 揚 被仰之
令之 所召 之 者也 又 二ウ 千字ウト 可
名也 但有 説 説 事也 云々

二年甲 ●巻十 元日節会 内弁宣云 二年甲 是同 前 短
次 同 前 長也 又 此 後
数 数 消 ウ 数 ウ 数 ウ 数

其侭芝次第着七共ニ三ツ着ハ内外汁ニ土器ヲ
板ニ着テ最把ヲ取テ又飯ヲ小ク夾テ入汁テ口辺ニ寄テ如荅
テ如本ク大盛ニシ着ヲ汁ニ一ツ則箸ヲ一ツ
退給ノ次第仰ニ未定臣下一献ノ式執仰
酒、式、勅、諸、吉服各自ノ下ノ如行唱平
手ニ取放テハ右手ニ取盃ヲ
居盛直接人ヲ加ル

●玉箒 箒ヲ手ヲ言ノ下

献上

去一日節会辞書不参之名申雑
右ノ通奏聞ノ件
仍執奏如件

高坏ノ
仰ニ右ノ件仗ニ応ジ下行ノ中雑
節会ニ参不参ノ名申
右ノ通奏聞ノ件
仍執奏如件

第八ニ小手ヲ着ノ件仗ニ応ジ下行ノ中雑
後ニ仰ノ右中弁ニ
去一日節会ニ参不参ノ名申
右ノ通奏聞ノ件
仍執奏如件

右ノ辞ニ小手ヲ着ノ件ヲ
去一日ノ節会ニ参ノ辞ヲ
右ノ通奏聞ノ件 執奏ノ
仍執奏如件

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』 請求記号 せ-61　ガラス使用

●来十七 天皇参会 宣風坊紀伊守宅ニ十二 御立ノ事ニ
拝命候ニ付参ル可キ旨ニ付十二ノ下刻ニ
切帝 出ル。当日ハ一統紙一枚ノ御服ニ
是迄ノ通リ着用 前駈三人 一列ニ
一 天皇御参会 二
一 供奉百官 二
一 一統御礼 二
一 召仰候趣ハ 二
資定 被仰渡

十二月七日

宣旨ノ
中山ノ宿

●日 受領ノ儀ニ付 宣旨 二
四位ニ昇叙ニ付 使ヲ以テ 二
●来ル 大嘗会 ノ 二
官女 ニ 三帝ノ御方 二
三位三条 ノ 二

●来十二 天皇参会 ノ 二
拝命候ニ付参ル可キ旨ニ付十二ノ下刻ニ

平座

●養老七 云々 中右記大略下二 今日天皇皮 年 三月 日 晩奏
云 掛ニ畏支天皇 多延二仕 祝王詞王詞臣等恐ミ恐ト申給リ 礼モ
畏支天皇 多延 今月 日ニ冠加給テ有礼具ニ侍リ万民同既
奉ル不 此大変天 雖下萬千年寿ヲ進ラント恐ミ恐ミモ申給ラト
申ス 宣揖 退出テ 次記再拝 列 云々 同再拝
ヲ生ヲヲ个 寿言 仮一事二 (上寿人ト云々 仍記ス) 心中大ニ安中ニ
之ヲ 奉事忘却 而已 孔子 守官 ●三月 日 左経記ニ
●祝詞 仍記ス 大略下ノ如シ ●
侍従 上 初度 命 其旨ヲ 云々
長保 有 平座 見参 供二 仍 夜 宣陽 西廂 二
仍侍上宣 之 而今日 上官座 在 奉 北 ニ
侍ル 者宣旨ヲ 上官 奉 北 ニ 別 中 ニ
々 退出 ヲ 仍 ●祝詞 仍記ス 大略下ノ如シ 惟忠

家経 等 平座 服着 大指笏 西等 三献 下 上々名 記 伝 西
雷陣 ニ 上 仍 宣 兄 ヲ 者 外記 唯称 ニ
左 宣 ヲ 外記 ニ 外記 ヲ 一 是 年来 之 侍ル 上々 進ル 場 奏 ル
ヲ 唯 名 ヲ 惟忠給 ニ 外記 一 会 侍給 従 奏 畢 テ 小庭
記 天 ヲ 下 ル 下 ル 平 ル ●祝詞 文 唯 ヲ ニ 入 右手 足 元日節会
平 ニ 儀 勅 奉行 弁 入 辞 退 上 ニ 座 着 命
問 ル 文 宣 陣 奥 弁 入 辞 退 仰 詞 ル
可 平 ニ 給 ヲ 掌 ル 節 会 儀 申 ル 宣 ル 事
儀 例 行 ヘ
常 会 ニ 行 事 ル 事 ル 宣 ル 元日 節会 可 平
張 作 詞 ヲ 一 ヲ 加 ル ニ 奏 ル 加 ル 加 ル
ニ 奏 会 ヲ 付 事 ル 宣 ル 仰 ル 奏 ル 仰 ル
ル 奏 ル 宣 ル 仰 ル 奏 ル 仰 ル 奏 ル 仰 ル

翌日以勅宣下元日節會可行由」為奉行弁
官令記下之」
●廿八日 丙戌 晴 ●廿八 丙戌 晴
朝覲行幸東宮如例 ●廿八 丙戌 晴
覲行幸中宮 皇太后宮 如例 ○永昌記 大治元年正月廿八日條
次第 ○法皇出御院 ○元長卿記 同日條
「出御院」之後 ○元日節會 ○元長卿記 同日條
「出御院」之後 ○元日節會 ○元長卿記 同日條
「出御院」之後 ○元日節會

宝三衣宮●昌晴記又仕うる亡き人あり
府係名参上取三衣宮そし[illegible]上出ぬしか
●来二十 [illegible]
二十出和馬
物所為之心●古歌記天法元三五院
三会
ムツカリ
于院ル所[illegible]先是有ル事ヲ
ホソメ
推校及申終[illegible]●小右記或穿ル房子或細用同下ル
●来二十一 [illegible]
二宮大会九記曰天仁元年三月
●実記曰寛仁元年三月廿五日庚午
陽明門ヨリ入ル外記ヲ召シ仰ス
青北東宮
記ス多シ
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

盤狛之叓時前人共二元上奉
奉之
来了即出人止狛子即在向僧氏方
狛子又又二又会奉七延上二又之古来
猪又三又今
八立又丁私氏ゟ了
丁抗氏言了面し私言之又共人当村
共後ゝ言当村一私面仁ゟし之仍通
各脱大和表れ事出私し一人脱有之
猪古事面端ゟ手子ゟ了ゟそし出
狛ゝ抗氏私言狛抗ゝ村言ゟ猪ゝ
事古業ゟ了ゟ
一資表ゟ了ゟ又言訓流ゟ了ゟ
如無辞言ゟ村氏当村ゟ了ゟ

立今五た二向今日各右七

加江此項
三上文具語ゟ了ゟ之ゟ
如ゟ
報部能州道都雨ゟ来

今猪ゟ了ゟ大狛し及元家ゟ了ゟ於仍ゟ
受ゟ了ゟ仍ゟ了ゟ何中ゟ了ゟ通再号し村
三ゟ了ゟ了ゟ氏如猛ゟ了言ゟ仍ゟ了
次ゟ狛ゟ及ゟ言ゟ家ゟ言ゟ了ゟ即出
特素ゟ了ゟ得無今ゟ了言ゟ一ゟ了ゟ
即ゟ来報言共一又唱ゟ了ゟ又
江ゟ了ゟ抗無辞事及世言ゟ了ゟ
私ゟ了ゟ後七当ゟ了ゟ大ゟ了ゟ

●来三三 恒例 三 恒例之

(三人宿ゟリ二ゟ了ゟ
ゟ氏七ゟ了ゟ二ゟ了ゟ)

(南三巡度
内府次三ゟ
字歌ゟれ府
有進歌大仰ゝ
存信々祝言集。
出会院和歌中仰言行成祝筆書和歌々私七人候自ゟ不読会平有二変法一方ゝ)

恒例之事ゟ了ゟ以ゝ々ゟ言ゟ之新ゟ了ゟ
故ゟ了ゟ二秋私中ゟ了ゟ共ゟ々ゟ了ゟ

散手事辨物ノ具物例ノ如シ

入之図 ●右記 文仁二三 右如シ 馬各二疋 事

了有リ 仍而 按図及ビ大 ●次記 文仁二三 而用有リ 馬各二疋 疫隊

文仁二三 陣記第五自東手 毛馬二疋 両又ハ 鞍ノ事也

●中右記 文仁二三 (文脱カ) 陪下 有障子 腰ノ袖 草衣

陪下ノ 草衣 ●次ニ 裏ノ袴 紅ノ表袴 仁和三 左大将

(日記ニ作ル) 着座 ●次ニ 内弁 参入 中門 内弁 給之 ●次ニ

●次ニ 内弁 着座 ●次ニ 内弁 召仰

帽子淺紗袍笏次帶劍次帶弓箭次
自家門出大路三度天蓋諸司皆下馬列立如常
儀大路三度天蓋諸司皆下馬列立如常
令出ス同指宮出ス次大臣從之次
門下 侍中 中納言 參議 三位已上 次
此公卿 宰相入中ニ人ク指ガ出ニ千秋万年
後門ヨリ入ル 次内侍 次女官 次
内堂童 白面 折烏帽子 紅衣 同色單衣 無行縢 藁ハキ 陰皆
烏帽子ウヤシカケリ其上ニ著落帽子 又ウヤシカケリ落帽カタ
ヘ烏形 仲綱 所著多綱ノ向上ヲ切ル
作紗ニ烏形ヲ縫ヒ付ル 次内侍 白面折烏帽子紅衣同色單衣
無行縢藁ハキ 陰皆

繁昌 班列 次 内堂 白面折烏帽子紅衣 同色單衣
無行縢藁ハキ 陰皆ニ 次 帯劍 内侍 次 持弓 持箭
次 内堂 白面折烏帽子紅衣 同色單衣 無行縢藁ハキ 陰皆
次 内侍 白面折烏帽子紅衣 同色單衣 無行縢藁ハキ 陰皆

●卷廿七　擬任叙位

●山花宮記八十二月廿一日　今日擬叙位事

●法成寺摂政記　寛仁二年十二月廿一日　今日叙位事

●中右記　七永元二十　叙一品事

●玉海　廿五二十　玉氏尊号　往昔第一親王拳之中古以来諸

入眼　被叙位ノ名ヲ入ル

此中ノ上ニ之ヌリ見ヘル如キ　ユヒヲ多ク書ヲ指ス　ノ如ク也

油書　叙位ノ名ヲ書ク事

上卿　ドノ　ノ　ニ

●左府　今日清書奉ル事

●陳前導奏　奉ルノ前奏

●陳前導奏　示可給入眼上卿ノ歟

●中右記　七永元二十　叙一品事

●玉海　廿五二十

中違ノ事

●卷廿七　擬任叙位

●山花宮記八十二月廿一日　今日叙位事

●法成寺摂政記　寛仁二年十二月廿一日　今日叙位事

●中右記　七永元二十　叙一品事

●玉海　廿五二十　玉氏尊号　往昔第一親王拳之中古以来諸

入眼　被叙位ノ名ヲ入ル

此中ノ上ニ之ヌリ見ヘル如キ　ユヒヲ多ク書ヲ指ス　ノ如ク也

油書　叙位ノ名ヲ書ク事

上卿　ドノ　ノ　ニ

●左府　今日清書奉ル事

●陳前導奏　奉ルノ前奏

●陳前導奏　示可給入眼上卿ノ歟

●中右記　七永元二十　叙一品事

●玉海　廿五二十

中違ノ事

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号　せ-61

ガラス使用

白河伯家
ノ古ノ廿一

王之中為長者之年未永抵（伯爵家始ト伸家之弁ヨリ云フノ）百今年有遠孔其故者顕綱王顕廣（男子）伝為伝陽上臈上拳状仲資王（顕廣三男即伝経弁）当時依父議執務被氏事為神祇伯上拳状着由人皆拳事古今未聞而孔氏（伯祇ノ一族ヨリ進上）悼朝奏楽曲可云太不思議神祇伯家（伯祇ノ一族ヨリ進上）悼朝奏楽曲温次拝任代々不宣旨下紫宸殿上仲資王申云可賜従五位下之由所望也

●門号日条　叙下名ヲ取叙位除筆書之ヨリ始ル　姓尸名計ヲ書ク尻付ニ式ノ

尻付（スベテ尻付ハ皆ヨリ此ニ准ズベシ）　千五十下　従五位下　忠文（武蔵）　宗守（従五位下）

●雅頼公次弁曰叙位入眼（之ヲ奏スルヲ云フ三ノ雅頼カ）西宮書曰入眼（ヨリ始ル）北山抄曰位記詰印（ヨリ）給叙位（ヨリ）

入眼（或位記儲下ヨリ）叙位簿（或下名ヨリ）下名

●来廿八日　簿（西宮記叙位簿）叙位挑筆（副簿ヲ）労出殿上（授入眼ノ上卿ニ）

●来廿九日　北山抄曰下名（雅頼公次弁ヨリ）叙下名并ニ加ヘ

八ヶ給叙位（スベテ四位ヨリ四位ヨリ）

●来三十日　関白ノ（仁和寺ニ在ス）　叙位儲ノ（後ノ位下ノ）　蔵人ノ（後ノ位下ノ）

ノ後廿三日給ヒ給ヒヌルヨリ給ヒヌルノ後ノ給ヒヌルヨリ其ノ日ノ入ノ後ノ位記ヲ書ク事ヲ

●四月三日（叙位ノ儀ヲ行ハルル事ヲ伝ヘ聞キテ代ノ伯分ヲ乞ヒ申ス事ヲ）（三代ニ）被却下事奏了

新春ノ吉日ヲ定メ（仁和寺ニ）御幸ヲ（徴安門院ノ）為ニ（御）給（ヘ）ト

●来二日　叙位ヲ（徴安門院ノ）行ハル

●来三日　被仰下諸社ノ（徴安門院ノ）御給ヲ（ヘ）ト

陣ニ於テ（徴安門院ノ）御給ヲ（ヘ）ト

●来四日　叙位ヲ（徴安門院ノ）行ハル

●来五日　被仰下諸社ノ（徴安門院ノ）御給ヲ（ヘ）ト

陣ニ於テ（徴安門院ノ）御給ヲ（ヘ）ト

廿三

●奏世一叙了　屋ヲ叙ス云々

叙位儀

王氏
三位
亡父
贈正一位

右為亡父贈正一位
叙従三位

王氏
三位
亡母
贈従一位

右為亡母贈従一位
叙正三位

王氏叙位例

院
三位以上亡祖父
亡曾祖父

右為亡祖父
亡曾祖父
叙従三位

●奏世二日上　奏了　侍従ニ任ス

侍従

侍従二
任ス

●国ヲ下ス　今日帝ヨリ侍従ニ任ス

●此ヨリ国ヲ下ス

院内宮ナドヲ給ハル叙位

侍従ニ任ス

●国ヲ下ス　王氏奏ヲ進ム

●此ヨリ国ヲ下ス

叙位儀

王氏
無位
資通王

右為年労
叙正五位下

王氏
正五位下
資通王

右為年労
叙従四位下

王氏
従四位下
資通王

右為年労
叙正四位下

王氏
正四位下
資通王

右為年労
叙従三位

王氏
従三位
資通王

右為年労
叙正三位

王氏
正三位
資通王

右為年労
叙従二位

王氏
従二位
資通王

右為年労
叙正二位

王氏
正二位
資通王

右為年労
叙従一位

王氏
従一位
資通王

右為年労
叙正一位

王氏
正一

川原ニ而 ニ 令持宝所及 ニ 内記下知
ニよれ(ハ)ノ ニ(ハ)ル 申沙汰了 ル(ヌ)ヨ 永六年二月 叙位勝定
一所申会 是 慶拾来 ニ 嘉吉二年 ニ 事実
引下知 ニ 此度儀 ニ 准 ニ 叙位
参中ニ 加 ニ 叙 ニ 会 ニ 事
勿論 ニ 康正 宝所 叙
勿論 ニ 康正 ス ル
叙位儀 ニ 准 ニ 叙位
従三位 源朝臣 ニ 義成
従三位 ニ 叙 ニ 事

●才三十三
●才三十心叙位 葉戒元 応永廿三年二月二日 三位 ニ 叙
●下名 叙位 ノ 日 ニ 叙 ニ 人 ニ 位 ニ 二位 ニ 叙 ニ 事
式下名 自 ニ 内 ニ 叙 ニ 行 ニ 間 ニ 事
仍 ニ 此 ニ 位 ニ 叙 ニ 行 ニ 事

叙位筥
下名 奏

●筥書 ニ 奏 ニ 後 ニ 注 也

正二位
藤原朝臣家俊

正三位
従三位
源朝臣 ニ 義成

●下名書 ニ 奏 ニ 後 ニ 注 也

正四位下
菅原朝臣為之
式部少輔 兼 ニ 勘解由次官
従四位下
小槻宿祢国名
行文

正四位下
菅原朝臣雅世
右中将 兼 ニ 播磨権守
従四位下
小槻宿祢国名
記名 行文

正五位
藤原朝臣持忠
従三位
源朝臣 ニ 義詮

正五位
藤原朝臣家俊
従三位
源朝臣 ニ 義詮

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　ガラス使用

兵二 菱系第九雅行
兵三 同 一 負雄
兵四 菱 一 実教
後花イ
式四 菱 一 一 永豊
二五イ
式五 一 一 一 敬胤
式六 一 一 一 頼胤
式七 一 一 一 俊芸
式八 一 一 一 基熙
式九 安後第九有雪

四世三位
忠英王
六位 菱系侍久
兵六 同 一 実教
後花イ
式四 菱 一 一 永豊
二五イ
式五 一 一 一 敬胤
式六 一 一 一 頼胤
式七 一 一 一 俊芸
式八 一 一 一 基熙
式九 安後第九有雪

後三条上
兵六 菱 一 一 一 著
式七 一 一 一 敬雅
式八 菱 一 一 一 基熙
式九 安後第九有雪

小槻々無

後三条下
式七 忠英王 寛和の後
平菱リ一 仲久 式九
式二 原 一 一 正弘 式九
式三 原 一 一 一 忠克 氏
式四 菱 一 一 一 敬宗 氏
式五 菱 一 一 一 揚卿 氏
式六 菱 一 一 一 長春 北条の第
式七 菱 一 一 一 時政 北花の第
式八 菱 一 一 一 別当 稙朝
三善第九之孫 行康
兵七 平 一 一 一 有久 左
兵八 中系朝臣第九之 左
兵九 原 一 一 一 信房 参議

兵下名
四位
菱系第九之為之
菱 一 一 一 雅行
原 一 一 一 基規
菱 一 一 一 実教

大外記菱
左弁官ヨテリ

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　ガラス使用

（表紙）

礼儀類典抄本

（裏表紙）

（見返し）

（目録）

（本文）

（裏見返し）

（裏表紙）

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号　せ-61　ガラス使用

故実

孫唯ノ声

音心路

●五位 ホあ之二七一中間ヤ女川申指政事也
ニテ之ニテ陰(外記)陰(外記)官之故実就(ニ)記之奉仕即其(ニ)(服ニ其ホニハアラズ式場アトリツクラー)
代聚元子独帝子ヤ若ヤ而表ニ容皆ニテ一容元子独帝よ
陰(外記)陰ヤ上古ハ依ニ布悟孔ニ数充盛ヤ色代
ヤ史ヲ非ヲ(ニ)(悟)件布三而五代伝布悟
文又ニ数ノ字流ヲ寿時殊方沙汰ル刑色代
役又ニ充例ハ於ニテ之ヲ奉ニ(ニ)ヲ古ヲ
ことヲ以ニ政事ニ法国ニ政弘布悟ニ
勤ニ奏史ヲ申ヲ伊通ヲ為ヲ
云シ大臣孫唯ニ摩事外高ヲ多ハ
特ニ奏報ニ付ヲ
回ニテ.フツキ(ニ)ナレヘ(ニ).フルクラナル之ハ上官ニ孫唯ハ吳採事也ヲ
●才三十九 白馬ハ(外記)ハ(ニ)ヲ 新大系ヲ(外記)ハ(ニ)ヲ

西海之ヲ花

渡レト申セ。ハ(ニ)ヲ陰(外記)陰(外記)ハ(ニ)ヲ来ヲ白狄ヲ指ヲ
トクヤ。又葉トク仕」。(定文ヲ)ヲ
モノヒニアラズヤ之ヲ(ニ)ヲ(ニ)ヲ(ニ)ヲ(ニ)ヲ(ニ)ヲ(ニ)ヲ
オノヅカラノ初ニテモノヒニアリテ
●五位 ハ(ニ)ヲ 抑西海主共上ヲハ(ニ)ヲ
白馬奏ノ仆白馬四匹依労定・若戒記ハ(ニ)ヲ
(外記)取右府自殺出軒廊依(ニ)遅列後之間ニモ九條相公共磬
折ヲ此事ヲ(ニ)ヲ致家抗者ニ跨ル(ニ)ヲ其人後ニ磬折俗ヲ
若又ハ若ニテの礼ヲ之ヲ(ニ)ヲ
家礼ヲ外記史ヲ(外記)取ヲ渡ヲ乃即ヲ
ヲ之ヲ二ヲ之ヲ今・里内軒廊ヲ
二方代支事ヲ礼康ヲ和任奏ヲ
代支ヲ方ヲ(ニ)ヲ武司ヲ司補改ヲ東(サカリ)陵ヲ依代給テン上宮ニ誠タリヤ

外記中之 式可大納言代散位従重多良 亜人
兵国浦ノ代散位従之 亜人ノ代二大主鈴宗忠秀国誠テ
候上卿仰ヲ令候ヨ多記録所

●弁従二位藤 公宣公孝卿 次官会人二参間二意
三ヶ列 三ヶ上首ヘ 内弁ノ時作法手一音 声
●三献記事ノ手 宣命 授因幡守従四位下行
宣命使因幡守従四位下行 一回栖成詔詞例 作法三献宣命
訖内弁ヘ退ク

会十人
●弁少納言宗雅卿 仁位二七 白馬ヲ引ク 内侍
参入 春庭 栄 左 百官乗 皇太 敷手
有官昭訓有官従位ノ 裏沓ヲ脱ク

当庭 敷文 江納之表 (江ヲ脱カ) 二手
把 (サヤ) 皇二悟曰一 (セン) 一日快ク殺ス
辛荷ヲ

●弁少納言 陪当庭 仁位二七 敷文ノ上ニ
●少納言 白馬 庭位三七 ●宣命使 白馬ヲ庭ニ伏セ
●弁少納言 一日 快ク殺ス 兵部卿 親王ノ
入道内府 正一位 左右ヲ分チ 家司ヲ
●弁少納言 内侍ノ 上ノ折紙 一 御座 折ル 三ヶ所ヲ
一 御剣 女房ニ

国栖 笛工ヨリ奏ス 一 内侍 代其西ノ上 一 外位奏 一 王卿 三位以上ノ
一 御琴 折ル 三ヶ所ヲ 上ノ折紙 一 御笛 女房ニ 一 宣大夫 達ヲ召 此宣命ノ宣旨ノ心ニテ

一宣數子　宣ハ心ヲ數ハ上ニ心ヲ　一門　一坊家圀　一舞女進出　一飾釵　一瓦子　一下重疏　一孫唯　唯ハ仰ノ領解ノ詞　一尋事說　一刷衣裳　一請益　一諸益　一來

此ノ注ヲ了ル此和ハ常儀也

●文ヲ記ス　方ノ小机ニ宣旨ヲ置ク

往古ハ殿ニオヰテ申ス所ヲ文ニ作ル今ハ略ス

列侯ヲ召ス々々ハ列ヲ召ス也

●平安ノ前今ハ略ス　文記ス　信乃梁ヲ奏ス　伸ヲ申ス

●天ヲクダシ給フ　陰陽師入眼・下名　神祇伯三敷位

●平安十一ノ前ニ書ク　文ヲ記ス　一敷ヲ置ク　孫唯ハ仰ノ領解ノ詞　孫ヲ子ニ所用茶桃弧矢ヲ　●玉箒ハ今ノ玉箒ニ似タリ　金ヲ以テ使ニ召ス使ハ宣旨ヲ傳フル使也

●平安十三ノ前ニ書ク　山槐記ニ載ル所ノ次第ニ同ス

●平安十二ノ前ニ書ク　神判ノ前ニ書ク　神判ノ名ヲ　今日ハ御拂ノ奉ノ字ヲ略ス

●平安十一ノ前ニ書ク　文ヲ記ス　一敷ヲ置ク　孫唯ハ仰ノ領解ノ詞　孫ヲ子ニ所用茶桃弧矢ヲ　●玉箒ハ今ノ玉箒ニ似タリ　金ヲ以テ使ニ召ス使ハ宣旨ヲ傳フル使也

●平安十三ノ前ニ書ク　山槐記ニ載ル所ノ次第ニ同ス　●平安十二

今贵敏亦已下 先院少弁任
（付案帳裏）

従又 奉仰 令長平今綱二代職昇四品伯了更ニ
二合 未給 三十二ヶ三ヶ月

●五位 歩之二六八 少日 隆国初日也余奉 勅 筆ニカ、次亜 院宮巾中文ノ
此間闕白給了 御書之申文 全ク之 亜 前
御申文左 取回 名替困替ス申文ヲ 覩ヲ一 営間 已上中文ヲ 御ス 抜
今申合 闕白用此説之 内給名替ス或説ヲ
追検旧説文 改説芸ヵ 二ヶ月 当年給ス 除二合 亜 同所 次 院宮未給名替
ヶ当年二合未給名替ス申文書 御出 抜已ニ
二合 未給 了 御給名 二合之未給ヲ 件二合未給
付汝只如年二下 御是先例也 可為執筆之失也
名替困替 可勘 毎 御書 況 若 巡 統中文ヲ
合 百 可浪 今日 之 件中文者 可勘 延年ノ下 亜 座 前
未給 統 東 混
合 宝 皆 書 了 之 労 問 在 座 之 参 仰 也 宮 抜 ヲ 当 元
井一

短冊

召 同 在 中将 参 原 別 宮 ヲ 事 之 抜 ヲ 上 案 亜 労 元
中文 自 在 下方 給 仰 之 勘 進 礼 此 人 仰 文 救 実 家 近 下了
抑中文短冊有 詔 ヶ当 ヲ 二合 指 ヶ
給 東 也 先 説 当 抜 ヲ 年 御 中 ヶ
当年二合ヲ 指 当年給 東 此 説 為 抜 ヶ
同之於当年二合申文 者 自 当年給 東
短冊也
人任 詔 当年給 者 元 仰 在 院宮 ニカ 中文
ヲ 詔 抜 二下 ヲ 止 抜 宗 了 ヲ 庶 当 ヲ
次 院 仰中文 詔 ヲ 仰 同 院 仰 抜 ヲ 名 替
此給 不 詔 入 第一 号 営 成文 ニカ 中文
推 抜 ヲ 破 ヲ 一 破 ヲ 当 元 ヲ 文 又 破 ヲ 二 ヶ 抜
紙 抜 ヲ 一 破 ヲ 当 元 ヲ 文 又 破 ヲ 二 ヶ 抜
懐中紙 指 ヲ 抜 二 給 ヲ 指 入 成文 ニカ 中
紙 指 ヲ 抜 二 給 ヲ 指 入 成文 ニカ 中

覧者 成文 大間ヲ 云
誰ニヲ 示
紙 抜 ヲ 此 二 給 ヲ 指 入 成文 ニカ 中
紙 抜 ヲ 此 二 給 ヲ 指 入 成文 ニカ 中

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61
ガラス使用

中文一束

未給二合名替国勢当悪任了　此中二合脱典入改文歟

同信少掾従七位上茨井宿祢兼忠

丹波少掾正六位上笹井宿祢雲晴　給二合五勺

但馬少掾従七位上物部公弘　停任　給二合五勺

已上二合未給各一度

武部少丞正六位上笹井宿祢忠弘　停任　給二合五勺

二合中一文　●此行五字二老（抹）抹日申り（抹）

物宮未給中文一束　二合中一文

出羽介正六位下巨勢朝臣　停任　給二合

丹波少掾正六位上笹井宿祢　停任　給二合

已上二合未給各一度

武部少丞正六位上笹井宿祢忠弘　停任　給二合

周防大目従七位上笹井宿祢里主　停任　給二合

伯耆大掾正六位上笹井宿祢延主　停任　給二合

此料官符二分代也

次取文書幸給　宣旨　掾　先令一度　停任

帰宅叙上任之日成功事　但任訖指減乗之数

周防大目従七位上笹井宿祢里主　停任訖指減乗之数

誠兼因幡大掾正六位上蜂田連牛支　実当年給

伯耆大目従七位上笹井宿祢国里　十年加一資乗加也

従八位下（抹）

二分一厘（抹）

成残中文　先校一度　正位

武部少丞正六位上笹井宿祢忠弘　停任　改任

二分一厘（抹）

二分一厘（抹）

二分一厘（抹）

名乗

陰目作名

(外記書 元文元年九月三日)

(宗氏二十ノ人自筆ニテ)

(宗氏二十ノ人自筆ニテ)

(宗氏二十ノ人自筆ニテ

判 草名

直物定

伝奏奉勅

○同廿九日ニ改元ノ事仰ラル

○同廿日申文被用判ニ定有ニ依テ之ヲ書入了

判者草名字ヲ何ト書ク哉ノ事

勘申日同廿日申文ニ加草名ヲ書ケリ

然而後日ニ改元ノ事ニ依テ此ノ草名ヲ用ヒ難シ

故ニ改元ノ後ニ准后ニ宣下アリ

○於三ノ条大納言ノ亭ニ依召参上

小槻晴興ヲ使トシテ奏聞ス

晴興ヲ以テ一ノ紙ニ位署ノ人々ノ名ヲ書テ

●奏事ヲ以テ一ノ紙ニ准后ノ宣下ノ事ヲ書テ

応仁ノ改元ニ依テ停止ノ事ヲ以テ

各ニ奏聞ス

○奏事ヲ以テ准后ノ宣下ノ事ヲ奏聞ス

○勅答ニ曰ク

准后ノ宣下ノ事ハ

今日ハ吉日ニ非ス

来月ニ可レ有ニ其沙汰一ト

○奏事ヲ以テ

今日ハ吉日ニ非ス

来月ニ可レ有ニ其沙汰一ノ由

○奏事ヲ以テ

勅答ノ趣ヲ

小槻晴興ヲ以テ

伝奏ニ告ケ了

○近代ハ奏事ヲ以テ

勅答ヲ伝フ一ノ紙ニ

位署ノ人々ノ名ヲ書テ

伝奏ニ渡ス

○同廿日ニ改元ノ宣下アリ

○同廿一日ニ改元ノ勘文ヲ

伝奏ニ渡ス

○同廿二日ニ改元ノ定アリ

○同廿三日ニ改元ノ吉書ヲ

奏聞ス

○同廿四日ニ改元ノ吉書ヲ

返下ス

○同廿五日ニ改元ノ宣下アリ

○同廿六日ニ改元ノ奉幣アリ

○同廿七日ニ改元ノ由ヲ

仙洞ニ奏聞ス

○同廿八日ニ改元ノ由ヲ

院ニ奏聞ス

○同廿九日ニ改元ノ由ヲ

内裏ニ奏聞ス

○同晦日ニ改元ノ由ヲ

伊勢ニ奉幣ス

○同日ニ改元ノ由ヲ

山陵ニ奉幣ス

○同日ニ改元ノ由ヲ

諸社ニ奉幣ス

○同日ニ改元ノ由ヲ

諸寺ニ奉幣ス

○同日ニ改元ノ由ヲ

諸国

●巻七十二　百官條目　五位二次三位　此日條目入眼之初也　依勅旨
久八ヶ條泰宗召勘人巡任之人ノ事ニ付テ　管国八人ノ年労任之ノ
ニ先代ニ事ニ又深ク其ノ人ノ時ニ任ニ事ヲ
名憲其事ニ有此勘任ニ角直牛飼之給ル可
有意事多ニ自里遣告示仍参ル
悦之余此上之ノ有ニ猶ノ事ニ於テ行ニ條目ノ
出羽守光国幷任国ニ在ル事ニ　美乃国ニ
子細後條ニ於テ被ル行ニ
二ヶ年ノ労ヲ積ル事ヲ
殊ニ長者ニ依テ　ニ
直物　事ニ入ル
●巻七十三　なし
●巻七十四　なし
●巻七十五　なし
●巻七十六　なし
●巻七十七　なし
●巻七十八　なし
●巻七十九　なし
●巻八十　なし
●巻八十一　なし
●巻八十二　なし
●巻八十三　なし
●巻八十四　なし
●巻八十五　なし
●巻八十六　なし
●巻八十七　なし
●巻八十八　なし
●巻八十九　なし
●巻九十　なし
●巻九十一　なし
●巻九十二　なし
●巻九十三　なし
●巻九十四　なし
●巻九十五　なし
●巻九十六　なし
●巻九十七　なし
●巻九十八　なし
●巻九十九　なし
●巻百　なし
●巻百一　なし
●巻百二　なし
●巻百三　なし
●巻百四　なし
●巻百五　なし
●巻百六　なし
●巻百七　なし
●巻百八　なし
●巻百九　なし
●巻百十　なし
●巻百十一　なし
●巻百十二　なし
●巻百十三　なし
●巻百十四　なし
●巻百十五　なし
●巻百十六　なし
●巻百十七　なし
●巻百十八　なし
●巻百十九　なし
●巻百二十　なし
●巻百二十一　なし
●巻百二十二　なし
●巻百二十三　なし
●巻百二十四　なし
●巻百二十五　なし
●巻百二十六　なし
●巻百二十七　なし
●巻百二十八　なし
●巻百二十九　なし
●巻百三十　なし
●巻百三十一　なし
●巻百三十二　なし
●巻百三十三　なし
●巻百三十四　なし
●巻百三十五　なし
●巻百三十六　なし
●巻百三十七　なし
●巻百三十八　なし
●巻百三十九　なし
●巻百四十　なし
●巻百四十一　なし
●巻百四十二　なし
●巻百四十三　なし
●巻百四十四　なし
●巻百四十五　なし
●巻百四十六　なし
●巻百四十七　なし
●巻百四十八　なし
●巻百四十九　なし
●巻百五十　なし
●巻百五十一　なし
●巻百五十二　なし
●巻百五十三　なし
●巻百五十四　なし
●巻百五十五　なし
●巻百五十六　なし
●巻百五十七　なし
●巻百五十八　なし
●巻百五十九　なし
●巻百六十　なし
●巻百六十一　なし
●巻百六十二　なし
●巻百六十三　なし
●巻百六十四　なし
●巻百六十五　なし
●巻百六十六　なし
●巻百六十七　なし
●巻百六十八　なし
●巻百六十九　なし
●巻百七十　なし
●巻百七十一　なし
●巻百七十二　なし
●巻百七十三　なし
●巻百七十四　なし
●巻百七十五　なし
●巻百七十六　なし
●巻百七十七　なし
●巻百七十八　なし
●巻百七十九　なし
●巻百八十　なし
●巻百八十一　なし
●巻百八十二　なし
●巻百八十三　なし
●巻百八十四　なし
●巻百八十五　なし
●巻百八十六　なし
●巻百八十七　なし
●巻百八十八　なし
●巻百八十九　なし
●巻百九十　なし
●巻百九十一　なし
●巻百九十二　なし
●巻百九十三　なし
●巻百九十四　なし
●巻百九十五　なし
●巻百九十六　なし
●巻百九十七　なし
●巻百九十八　なし
●巻百九十九　なし
●巻二百　なし
●巻二百一　なし
●巻二百二　なし
●巻二百三　なし
●巻二百四　なし
●巻二百五　なし
●巻二百六　なし
●巻二百七　なし
●巻二百八　なし
●巻二百九　なし
●巻二百十　なし
●巻二百十一　なし
●巻二百十二　なし
●巻二百十三　なし
●巻二百十四　なし
●巻二百十五　なし
●巻二百十六　なし
●巻二百十七　なし
●巻二百十八　なし
●巻二百十九　なし
●巻二百二十　なし
●巻二百二十一　なし
●巻二百二十二　なし
●巻二百二十三　なし
●巻二百二十四　なし
●巻二百二十五　なし
●巻二百二十六　なし
●巻二百二十七　なし
●巻二百二十八　なし
●巻二百二十九　なし
●巻二百三十　なし
●巻二百三十一　なし
●巻二百三十二　なし
●巻二百三十三　なし
●巻二百三十四　なし
●巻二百三十五　なし
●巻二百三十六　なし
●巻二百三十七　なし
●巻二百三十八　なし
●巻二百三十九　なし
●巻二百四十　なし
●巻二百四十一　なし
●巻二百四十二　なし
●巻二百四十三　なし
●巻二百四十四　なし
●巻二百四十五　なし
●巻二百四十六　なし
●巻二百四十七　なし
●巻二百四十八　なし
●巻二百四十九　なし
●巻二百五十　なし
●巻二百五十一　なし
●巻二百五十二　なし
●巻二百五十三　なし
●巻二百五十四　なし
●巻二百五十五　なし
●巻二百五十六　なし
●巻二百五十七　なし
●巻二百五十八　なし
●巻二百五十九　なし
●巻二百六十　なし
●巻二百六十一　なし
●巻二百六十二　なし
●巻二百六十三　なし
●巻二百六十四　なし
●巻二百六十五　なし
●巻二百六十六　なし
●巻二百六十七　なし
●巻二百六十八　なし
●巻二百六十九　なし
●巻二百七十　なし
●巻二百七十一　なし
●巻二百七十二　なし
●巻二百七十三　なし
●巻二百七十四　なし
●巻二百七十五　なし
●巻二百七十六　なし
●巻二百七十七　なし
●巻二百七十八　なし
●巻二百七十九　なし
●巻二百八十　なし
●巻二百八十一　なし
●巻二百八十二　なし
●巻二百八十三　なし
●巻二百八十四　なし
●巻二百八十五　なし
●巻二百八十六　なし
●巻二百八十七　なし
●巻二百八十八　なし
●巻二百八十九　なし
●巻二百九十　なし
●巻二百九十一　なし
●巻二百九十二　なし
●巻二百九十三　なし
●巻二百九十四　なし
●巻二百九十五　なし
●巻二百九十六　なし
●巻二百九十七　なし
●巻二百九十八　なし
●巻二百九十九　なし
●巻三百　なし
●巻三百一　なし
●巻三百二　なし
●巻三百三　なし
●巻三百四　なし
●巻三百五　なし
●巻三百六　なし
●巻三百七　なし
●巻三百八　なし
●巻三百九　なし
●巻三百十　なし
●巻三百十一　なし
●巻三百十二　なし
●巻三百十三　なし
●巻三百十四　なし
●巻三百十五　なし
●巻三百十六　なし
●巻三百十七　なし
●巻三百十八　なし
●巻三百十九　なし
●巻三百二十　なし
●巻三百二十一　なし
●巻三百二十二　なし
●巻三百二十三　なし
●巻三百二十四　なし
●巻三百二十五　なし
●巻三百二十六　なし
●巻三百二十七　なし
●巻三百二十八　なし
●巻三百二十九　なし
●巻三百三十　なし
●巻三百三十一　なし
●巻三百三十二　なし
●巻三百三十三　なし
●巻三百三十四　なし
●巻三百三十五　なし
●巻三百三十六　なし
●巻三百三十七　なし
●巻三百三十八　なし
●巻三百三十九　なし
●巻三百四十　なし
●巻三百四十一　なし
●巻三百四十二　なし
●巻三百四十三　なし
●巻三百四十四　なし
●巻三百四十五　なし
●巻三百四十六　なし
●巻三百四十七　なし
●巻三百四十八　なし
●巻三百四十九　なし
●巻三百五十　なし
●巻三百五十一　なし
●巻三百五十二　なし
●巻三百五十三　なし
●巻三百五十四　なし
●巻三百五十五　なし
●巻三百五十六　なし
●巻三百五十七　なし
●巻三百五十八　なし
●巻三百五十九　なし
●巻三百六十　なし
●巻三百六十一　なし
●巻三百六十二　なし
●巻三百六十三　なし
●巻三百六十四　なし
●巻三百六十五　なし
●巻三百六十六　なし
●巻三百六十七　なし
●巻三百六十八　なし
●巻三百六十九　なし
●巻三百七十　なし
●巻三百七十一　なし
●巻三百七十二　なし
●巻三百七十三　なし
●巻三百七十四　なし
●巻三百七十五　なし
●巻三百七十六　なし
●巻三百七十七　なし
●巻三百七十八　なし
●巻三百七十九　なし
●巻三百八十　なし
●巻三百八十一　なし
●巻三百八十二　なし
●巻三百八十三　なし
●巻三百八十四　なし
●巻三百八十五　なし
●巻三百八十六　なし
●巻三百八十七　なし
●巻三百八十八　なし
●巻三百八十九　なし
●巻三百九十　なし
●巻三百九十一　なし
●巻三百九十二　なし
●巻三百九十三　なし
●巻三百九十四　なし
●巻三百九十五　なし
●巻三百九十六　なし
●巻三百九十七　なし
●巻三百九十八　なし
●巻三百九十九　なし
●巻四百　なし
●巻四百一　なし
●巻四百二　なし
●巻四百三　なし
●巻四百四　なし
●巻四百五　なし
●巻四百六　なし
●巻四百七　なし
●巻四百八　なし
●巻四百九　なし
●巻四百十　なし
●巻四百十一　なし
●巻四百十二　なし
●巻四百十三　なし
●巻四百十四　なし
●巻四百十五　なし
●巻四百十六　なし
●巻四百十七　なし
●巻四百十八　なし
●巻四百十九　なし
●巻四百二十　なし
●巻四百二十一　なし
●巻四百二十二　なし
●巻四百二十三　なし
●巻四百二十四　なし
●巻四百二十五　なし
●巻四百二十六　なし
●巻四百二十七　なし
●巻四百二十八　なし
●巻四百二十九　なし
●巻四百三十　なし
●巻四百三十一　なし
●巻四百三十二　なし
●巻四百三十三　なし
●巻四百三十四　なし
●巻四百三十五　なし
●巻四百三十六　なし
●巻四百三十七　なし
●巻四百三十八　なし
●巻四百三十九　なし
●巻四百四十　なし
●巻四百四十一　なし
●巻四百四十二　なし
●巻四百四十三　なし
●巻四百四十四　なし
●巻四百四十五　なし
●巻四百四十六　なし
●巻四百四十七　なし
●巻四百四十八　なし
●巻四百四十九　なし
●巻四百五十　なし
●巻四百五十一　なし
●巻四百五十二　なし
●巻四百五十三　なし
●巻四百五十四　なし
●巻四百五十五　なし
●巻四百五十六　なし
●巻四百五十七　なし
●巻四百五十八　なし
●巻四百五十九　なし
●巻四百六十　なし
●巻四百六十一　なし
●巻四百六十二　なし
●巻四百六十三　なし
●巻四百六十四　なし
●巻四百六十五　なし
●巻四百六十六　なし
●巻四百六十七　なし
●巻四百六十八　なし
●巻四百六十九　なし
●巻四百七十　なし
●巻四百七十一　なし
●巻四百七十二　なし
●巻四百七十三　なし
●巻四百七十四　なし
●巻四百七十五　なし
●巻四百七十六　なし
●巻四百七十七　なし
●巻四百七十八　なし
●巻四百七十九　なし
●巻四百八十　なし
●巻四百八十一　なし
●巻四百八十二　なし
●巻四百八十三　なし
●巻四百八十四　なし
●巻四百八十五　なし
●巻四百八十六　なし
●巻四百八十七　なし
●巻四百八十八　なし
●巻四百八十九　なし
●巻四百九十　なし
●巻四百九十一　なし
●巻四百九十二　なし
●巻四百九十三　なし
●巻四百九十四　なし
●巻四百九十五　なし
●巻四百九十六　なし
●巻四百九十七　なし
●巻四百九十八　なし
●巻四百九十九　なし
●巻五百　なし
●巻五百一　なし
●巻五百二　なし
●巻五百三　なし
●巻五百四　なし
●巻五百五　なし
●巻五百六　なし
●巻五百七　なし
●巻五百八　なし
●巻五百九　なし
●巻五百十　なし
●巻五百十一　なし
●巻五百十二　なし
●巻五百十三　なし
●巻五百十四　なし
●巻五百十五　なし
●巻五百十六　なし
●巻五百十七　なし
●巻五百十八　なし
●巻五百十九　なし
●巻五百二十　なし
●巻五百二十一　なし
●巻五百二十二　なし
●巻五百二十三　なし
●巻五百二十四　なし
●巻五百二十五　なし
●巻五百二十六　なし
●巻五百二十七　なし
●巻五百二十八　なし
●巻五百二十九　なし
●巻五百三十　なし
●巻五百三十一　なし
●巻五百三十二　なし
●巻五百三十三　なし
●巻五百三十四　なし
●巻五百三十五　なし
●巻五百三十六　なし
●巻五百三十七　なし
●巻五百三十八　なし
●巻五百三十九　なし
●巻五百四十　なし
●巻五百四十一　なし
●巻五百四十二　なし
●巻五百四十三　なし
●巻五百四十四　なし
●巻五百四十五　なし
●巻五百四十六　なし
●巻五百四十七　なし
●巻五百四十八　なし
●巻五百四十九　なし
●巻五百五十　なし
●巻五百五十一　なし
●巻五百五十二　なし
●巻五百五十三　なし
●巻五百五十四　なし
●巻五百五十五　なし
●巻五百五十六　なし
●巻五百五十七　なし
●巻五百五十八　なし
●巻五百五十九　なし
●巻五百六十　なし
●巻五百六十一　なし
●巻五百六十二　なし
●巻五百六十三　なし
●巻五百六十四　なし
●巻五百六十五　なし
●巻五百六十六　なし
●巻五百六十七　なし
●巻五百六十八　なし
●巻五百六十九　なし
●巻五百七十　なし
●巻五百七十一　なし
●巻五百七十二　なし
●巻五百七十三　なし
●巻五百七十四　なし
●巻五百七十五　なし
●巻五百七十六　なし
●巻五百七十七　なし
●巻五百七十八　なし
●巻五百七十九　なし
●巻五百八十　なし
●巻五百八十一　なし
●巻五百八十二　なし
●巻五百八十三　なし
●巻五百八十四　なし
●巻五百八十五　なし
●巻五百八十六　なし
●巻五百八十七　なし
●巻五百八十八　なし
●巻五百八十九　なし
●巻五百九十　なし
●巻五百九十一　なし
●巻五百九十二　なし
●巻五百九十三　なし
●巻五百九十四　なし
●巻五百九十五　なし
●巻五百九十六　なし
●巻五百九十七　なし
●巻五百九十八　なし
●巻五百九十九　なし
●巻六百　なし
●巻六百一　なし
●巻六百二　なし
●巻六百三　なし
●巻六百四　なし
●巻六百五　なし
●巻六百六　なし
●巻六百七　なし
●巻六百八　なし
●巻六百九　なし
●巻六百十　なし
●巻六百十一　なし
●巻六百十二　なし
●巻六百十三　なし
●巻六百十四　なし
●巻六百十五　なし
●巻六百十六　なし
●巻六百十七　なし
●巻六百十八　なし
●巻六百十九　なし
●巻六百二十　なし
●巻六百二十一　なし
●巻六百二十二　なし
●巻六百二十三　なし
●巻六百二十四　なし
●巻六百二十五　なし
●巻六百二十六　なし
●巻六百二十七　なし
●巻六百二十八　なし
●巻六百二十九　なし
●巻六百三十　なし
●巻六百三十一　なし
●巻六百三十二　なし
●巻六百三十三　なし
●巻六百三十四　なし
●巻六百三十五　なし
●巻六百三十六　なし
●巻六百三十七　なし
●巻六百三十八　なし
●巻六百三十九　なし
●巻六百四十　なし
●巻六百四十一　なし
●巻六百四十二　なし
●巻六百四十三　なし
●巻六百四十四　なし
●巻六百四十五　なし
●巻六百四十六　なし
●巻六百四十七　なし
●巻六百四十八　なし
●巻六百四十九　なし
●巻六百五十　なし
●巻六百五十一　なし
●巻六百五十二　なし
●巻六百五十三　なし
●巻六百五十四　なし
●巻六百五十五　なし
●巻六百五十六　なし
●巻六百五十七　なし
●巻六百五十八　なし
●巻六百五十九　なし
●巻六百六十　なし
●巻六百六十一　なし
●巻六百六十二　なし
●巻六百六十三　なし
●巻六百六十四　なし
●巻六百六十五　なし
●巻六百六十六　なし
●巻六百六十七　なし
●巻六百六十八　なし
●巻六百六十九　なし
●巻六百七十　なし
●巻六百七十一　なし
●巻六百七十二　なし
●巻六百七十三　なし
●巻六百七十四　なし
●巻六百七十五　なし
●巻六百七十六　なし
●巻六百七十七　なし
●巻六百七十八　なし
●巻六百七十九　なし
●巻六百八十　なし
●巻六百八十一　なし
●巻六百八十二　なし
●巻六百八十三　なし
●巻六百八十四　なし
●巻六百八十五　なし
●巻六百八十六　なし
●巻六百八十七　なし
●巻六百八十八　なし
●巻六百八十九　なし
●巻六百九十　なし
●巻六百九十一　なし
●巻六百九十二　なし
●巻六百九十三　なし
●巻六百九十四　なし
●巻六百九十五　なし
●巻六百九十六　なし
●巻六百九十七　なし
●巻六百九十八　なし
●巻六百九十九　なし
●巻七百　なし
●巻七百一　なし
●巻七百二　なし
●巻七百三　なし
●巻七百四　なし
●巻七百五　なし
●巻七百六　なし
●巻七百七　なし
●巻七百八　なし
●巻七百九　なし
●巻七百十　なし
●巻七百十一　なし
●巻七百十二　なし
●巻七百十三　なし
●巻七百十四　なし
●巻七百十五　なし
●巻七百十六　なし
●巻七百十七　なし
●巻七百十八　なし
●巻七百十九　なし
●巻七百二十　なし
●巻七百二十一　なし
●巻七百二十二　なし
●巻七百二十三　なし
●巻七百二十四　なし
●巻七百二十五　なし
●巻七百二十六　なし
●巻七百二十七　なし
●巻七百二十八　なし
●巻七百二十九　なし
●巻七百三十　なし
●巻七百三十一　なし
●巻七百三十二　なし
●巻七百三十三　なし
●巻七百三十四　なし
●巻七百三十五　なし
●巻七百三十六　なし
●巻七百三十七　なし
●巻七百三十八　なし
●巻七百三十九　なし
●巻七百四十　なし
●巻七百四十一　なし
●巻七百四十二　なし
●巻七百四十三　なし
●巻七百四十四　なし
●巻七百四十五　なし
●巻七百四十六　なし
●巻七百四十七　なし
●巻七百四十八　なし
●巻七百四十九　なし
●巻七百五十　なし
●巻七百五十一　なし
●巻七百五十二　なし
●巻七百五十三　なし
●巻七百五十四　なし
●巻七百五十五　なし
●巻七百五十六　なし
●巻七百五十七　なし
●巻七百五十八　なし
●巻七百五十九　なし
●巻七百六十　なし
●巻七百六十一　なし
●巻七百六十二　なし
●巻七百六十三　なし
●巻七百六十四　なし
●巻七百六十五　なし
●巻七百六十六　なし
●巻七百六十七　なし
●巻七百六十八　なし
●巻七百六十九　なし
●巻七百七十　なし
●巻七百七十一　なし
●巻七百七十二　なし
●巻七百七十三　なし
●巻七百七十四　なし
●巻七百七十五　なし
●巻七百七十六　なし
●巻七百七十七　なし
●巻七百七十八　なし
●巻七百七十九　なし
●巻七百八十　なし
●巻七百八十一　なし
●巻七百八十二　なし
●巻七百八十三　なし
●巻七百八十四　なし
●巻七百八十五　なし
●巻七百八十六　なし
●巻七百八十七　なし
●巻七百八十八　なし
●巻七百八十九　なし
●巻七百九十　なし
●巻七百九十一　なし
●巻七百九十二　なし
●巻七百九十三　なし
●巻七百九十四　なし
●巻七百九十五　なし
●巻七百九十六　なし
●巻七百九十七　なし
●巻七百九十八　なし
●巻七百九十九　なし
●巻八百　なし
●巻八百一　なし
●巻八百二　なし
●巻八百三　なし
●巻八百四　なし
●巻八百五　なし
●巻八百六　なし
●巻八百七　なし
●巻八百八　なし
●巻八百九　なし
●巻八百十　なし
●巻八百十一　なし
●巻八百十二　なし
●巻八百十三　なし
●巻八百十四　なし
●巻八百十五　なし
●巻八百十六　なし
●巻八百十七　なし
●巻八百十八　なし
●巻八百十九　なし
●巻八百二十　なし
●巻八百二十一　なし
●巻八百二十二　なし
●巻八百二十三　なし
●巻八百二十四　なし
●巻八百二十五　なし
●巻八百二十六　なし
●巻八百二十七　なし
●巻八百二十八　なし
●巻八百二十九　なし
●巻八百三十　なし
●巻八百三十一　なし
●巻八百三十二　なし
●巻八百三十三　なし
●巻八百三十四　なし
●巻八百三十五　なし
●巻八百三十六　なし
●巻八百三十七　なし
●巻八百三十八　なし
●巻八百三十九　なし
●巻八百四十　なし
●巻八百四十一　なし
●巻八百四十二　なし
●巻八百四十三　なし
●巻八百四十四　なし
●巻八百四十五　なし
●巻八百四十六　なし
●巻八百四十七　なし
●巻八百四十八　なし
●巻八百四十九　なし
●巻八百五十　なし
●巻八百五十一　なし
●巻八百五十二　なし
●巻八百五十三　なし
●巻八百五十四　なし
●巻八百五十五　なし
●巻八百五十六　なし
●巻八百五十七　なし
●巻八百五十八　なし
●巻八百五十九　なし
●巻八百六十　なし
●巻八百六十一　なし
●巻八百六十二　なし
●巻八百六十三　なし
●巻八百六十四　なし
●巻八百六十五　なし
●巻八百六十六　なし
●巻八百六十七　なし
●巻八百六十八　なし
●巻八百六十九　なし
●巻八百七十　なし
●巻八百七十一　なし
●巻八百七十二　なし
●巻八百七十三　なし
●巻八百七十四　なし
●巻八百七十五　なし
●巻八百七十六　なし
●巻八百七十七　なし
●巻八百七十八　なし
●巻八百七十九　なし
●巻八百八十　なし
●巻八百八十一　なし
●巻八百八十二　なし
●巻八百八十三　なし
●巻八百八十四　なし
●巻八百八十五　なし
●巻八百八十六　なし
●巻八百八十七　なし
●巻八百八十八　なし
●巻八百八十九　なし
●巻八百九十　なし
●巻八百九十一　なし
●巻八百九十二　なし
●巻八百九十三　なし
●巻八百九十四　なし
●巻八百九十五　なし
●巻八百九十六　なし
●巻八百九十七　なし
●巻八百九十八　なし
●巻八百九十九　なし
●巻九百　なし
●巻九百一　なし
●巻九百二　なし
●巻九百三　なし
●巻九百四　なし
●巻九百五　なし
●巻九百六　なし
●巻九百七　なし
●巻九百八　なし
●巻九百九　なし
●巻九百十　なし
●巻九百十一　なし
●巻九百十二　なし
●巻九百十三　なし
●巻九百十四　なし
●巻九百十五　なし
●巻九百十六　なし
●巻九百十七　なし
●巻九百十八　なし
●巻九百十九　なし
●巻九百二十　なし
●巻九百二十一　なし
●巻九百二十二　なし
●巻九百二十三　なし
●巻九百二十四　なし
●巻九百二十五　なし
●巻九百二十六　なし
●巻九百二十七　なし
●巻九百二十八　なし
●巻九百二十九　なし
●巻九百三十　なし
●巻九百三十一　なし
●巻九百三十二　なし
●巻九百三十三　なし
●巻九百三十四　なし
●巻九百三十五　なし
●巻九百三十六　なし
●巻九百三十七　なし
●巻九百三十八　なし
●巻九百三十九　なし
●巻九百四十　なし
●巻九百四十一　なし
●巻九百四十二　なし
●巻九百四十三　なし
●巻九百四十四　なし
●巻九百四十五　なし
●巻九百四十六　なし
●巻九百四十七　なし
●巻九百四十八　なし
●巻九百四十九　なし
●巻九百五十　なし
●巻九百五十一　なし
●巻九百五十二　なし
●巻九百五十三　なし
●巻九百五十四　なし
●巻九百五十五　なし
●巻九百五十六　なし
●巻九百五十七　なし
●巻九百五十八　なし
●巻九百五十九　なし
●巻九百六十　なし
●巻九百六十一　なし
●巻九百六十二　なし
●巻九百六十三　なし
●巻九百六十四　なし
●巻九百六十五　なし
●巻九百六十六　なし
●巻九百六十七　なし
●巻九百六十八　なし
●巻九百六十九　なし
●巻九百七十　なし
●巻九百七十一　なし
●巻九百七十二　なし
●巻九百七十三　なし
●巻九百七十四　なし
●巻九百七十五　なし
●巻九百七十六　なし
●巻九百七十七　なし
●巻九百七十八　なし
●巻九百七十九　なし
●巻九百八十　なし
●巻九百八十一　なし
●巻九百八十二　なし
●巻九百八十三　なし
●巻九百八十四　なし
●巻九百八十五　なし
●巻九百八十六　なし
●巻九百八十七　なし
●巻九百八十八　なし
●巻九百八十九　なし
●巻九百九十　なし
●巻九百九十一　なし
●巻九百九十二　なし
●巻九百九十三　なし
●巻九百九十四　なし
●巻九百九十五　なし
●巻九百九十六　なし
●巻九百九十七　なし
●巻九百九十八　なし
●巻九百九十九　なし
●巻千　なし
●巻千一　なし
●巻千二　なし
●巻千三　なし
●巻千四　なし
●巻千五　なし
●巻千六　なし
●巻千七　なし
●巻千八　なし
●巻千九　なし
●巻千十　なし
●巻千十一　なし
●巻千十二　なし
●巻千十三　なし
●巻千十四　なし
●巻千十五　なし
●巻千十六　なし
●巻千十七　なし
●巻千十八　なし
●巻千十九　なし
●巻千二十　なし
●巻千二十一　なし
●巻千二十二　なし
●巻千二十三　なし
●巻千二十四　なし
●巻千二十五　なし
●巻千二十六　なし
●巻千二十七　なし
●巻千二十八　なし
●巻千二十九　なし
●巻千三十　なし
●巻千三十一　なし
●巻千三十二　なし
●巻千三十三　なし
●巻千三十四　なし
●巻千三十五　なし
●巻千三十六　なし
●巻千三十七　なし
●巻千三十八　なし
●巻千三十九　なし
●巻千四十　なし
●巻千四十一　なし
●巻千四十二　なし
●巻千四十三　なし
●巻千四十四　なし
●巻千四十五　なし
●巻千四十六　なし
●巻千四十七　なし
●巻千四十八　なし
●巻千四十九　なし
●巻千五十　なし
●巻千五十一　なし
●巻千五十二　なし
●巻千五十三　なし
●巻千五十四　なし
●巻千五十五　なし
●巻千五十六　なし
●巻千五十七　なし
●巻千五十八　なし
●巻千五十九　なし
●巻千六十　なし
●巻千六十一　なし
●巻千六十二　なし
●巻千六十三　なし
●巻千六十四　なし
●巻千六十五　なし
●巻千六十六　なし
●巻千六十七　なし
●巻千六十八　なし
●巻千六十九　なし
●巻千七十　なし
●巻千七十一　なし
●巻千七十二　なし
●巻千七十三　なし
●巻千七十四　なし
●巻千七十五　なし
●巻千七十六　なし
●巻千七十七　なし
●巻千七十八　なし
●巻千七十九　なし
●巻千八十　なし
●巻千八十一　なし
●巻千八十二　なし
●巻千八十三　なし
●巻千八十四　なし
●巻千八十五　なし
●巻千八十六　なし
●巻千八十七　なし
●巻千八十八　なし
●巻千八十九　なし
●巻千九十　なし
●巻千九十一　なし
●巻千九十二　なし
●巻千九十三　なし
●巻千九十四　なし
●巻千九十五　なし
●巻千九十六　なし
●巻千九十七　なし
●巻千九十八　なし
●巻千九十九　なし
●巻千百　なし
●巻千百一　なし
●巻千百二　なし
●巻千百三　なし
●巻千百四　なし
●巻千百五　なし
●巻千百六　なし
●巻千百七　なし
●巻千百八　なし
●巻千百九　なし
●巻千百十　なし
●巻千百十一　なし
●巻千百十二　なし
●巻千百十三　なし
●巻千百十四　なし
●巻千百十五　なし
●巻千百十六　なし
●巻千百十七　なし
●巻千百十八　なし
●巻千百十九　なし
●巻千百二十　なし
●巻千百二十一　なし
●巻千百二十二　なし
●巻千百二十三　なし
●巻千百二十四　なし
●巻千百二十五　なし
●巻千百二十六　なし
●巻千百二十七　なし
●巻千百二十八　なし
●巻千百二十九　なし
●巻千百三十　なし
●巻千百三十一　なし
●巻千百三十二　なし
●巻千百三十三　なし
●巻千百三十四　なし
●巻千百三十五　なし
●巻千百三十六　なし
●巻千百三十七　なし
●巻千百三十八　なし
●巻千百三十九　なし
●巻千百四十　なし
●巻千百四十一　なし
●巻千百四十二　なし
●巻千百四十三　なし
●巻千百四十四　なし
●巻千百四十五　なし
●巻千百四十六　なし
●巻千百四十七　なし
●巻千百四十八　なし
●巻千百四十九　なし
●巻千百五十　なし
●巻千百五十一　なし
●巻千百五十二　なし
●巻千百五十三　なし
●巻千百五十四　なし
●巻千百五十五　なし
●巻千百五十六　なし
●巻千百五十七　なし
●巻千百五十八　なし
●巻千百五十九　なし
●巻千百六十　なし
●巻千百六十一　なし
●巻千百六十二　なし
●巻千百六十三　なし
●巻千百六十四　なし
●巻千百六十五　なし
●巻千百六十六　なし
●巻千百六十七　なし
●巻千百六十八　なし
●巻千百六十九　なし
●巻千百七十　なし
●巻千百七十一　なし
●巻千百七十二　なし
●巻千百七十三　なし
●巻千百七十四　なし
●巻千百七十五　なし
●巻千百七十六　なし
●巻千百七十七　なし
●巻千百七十八　なし
●巻千百七十九　なし
●巻千百八十　なし
●巻千百八十一　なし
●巻千百八十二　なし
●巻千百八十三　なし
●巻千百八十四　なし
●巻千百八十五　なし
●巻千百八十六　なし
●巻千百八十七　なし
●巻千百八十八　なし
●巻千百八十九　なし
●巻千百九十　なし
●巻千百九十一　なし
●巻千百九十二　なし
●巻千百九十三　なし
●巻千百九十四　なし
●巻千百九十五　なし
●巻千百九十六　なし
●巻千百九十七　なし
●巻千百九十八　なし
●巻千百九十九　なし
●巻千二百　なし
●巻千二百一　なし
●巻千二百二　なし
●巻千二百三　なし
●巻千二百四　なし
●巻千二百五　なし
●巻千二百六　なし
●巻千二百七　なし
●巻千二百八　なし
●巻千二百九　なし
●巻千二百十　なし
●巻千二百十一　なし
●巻千二百十二　なし
●巻千二百十三　なし
●巻千二百十四　なし
●巻千二百十五　なし
●巻千二百十六　なし
●巻千二百十七　なし
●巻千二百十八　なし
●巻千二百十九　なし
●巻千二百二十　なし
●巻千二百二十一　なし
●巻千二百二十二　なし
●巻千二百二十三　なし
●巻千二百二十四　なし
●巻千二百二十五　なし
●巻千二百二十六　なし
●巻千二百二十七　なし
●巻千二百二十八　なし
●巻千二百二十九　なし
●巻千二百三十　なし
●巻千二百三十一　なし
●巻千二百三十二　なし
●巻千二百三十三　なし
●巻千二百三十四　なし
●巻千二百三十五　なし
●巻千二百三十六　なし
●巻千二百三十七　なし
●巻千二百三十八　なし
●巻千二百三十九　なし
●巻千二百四十　なし
●巻千二百四十一　なし
●巻千二百四十二　なし
●巻千二百四十三　なし
●巻千二百四十四　なし
●巻千二百四十五　なし
●巻千二百四十六　なし
●巻千二百四十七　なし
●巻千二百四十八　なし
●巻千二百四十九　なし
●巻千二百五十　なし
●巻千二百五十一　なし
●巻千二百五十二　なし
●巻千二百五十三　なし
●巻千二百五十四　なし
●巻千二百五十五　なし
●巻千二百五十六　なし
●巻千二百五十七　なし
●巻千二百五十八　なし
●巻千二百五十九　なし
●巻千二百六十　なし
●巻千二百六十一　なし
●巻千二百六十二　なし
●巻千二百六十三　なし
●巻千二百六十四　なし
●巻千二百六十五　なし
●巻千二百六十六　なし
●巻千二百六十七　なし
●巻千二百六十八　なし
●巻千二百六十九　なし
●巻千二百七十　なし
●巻千二百七十一　なし
●巻千二百七十二　なし
●巻千二百七十三　なし
●巻千二百七十四　なし
●巻千二百七十五　なし
●巻千二百七十六　なし
●巻千二百七十七　なし
●巻千二百七十八　なし
●巻千二百七十九　なし
●巻千二百八十　なし
●巻千二百八十一　なし
●巻千二百八十二　なし
●巻千二百八十三　なし
●巻千二百八十四　なし
●巻千二百八十五　なし
●巻千二百八十六　なし
●巻千二百八十七　なし
●巻千二百八十八　なし
●巻千二百八十九　なし
●巻千二百九十　なし
●巻千二百九十一　なし
●巻千二百九十二　なし
●巻千二百九十三　なし
●巻千二百九十四　なし
●巻千二百九十五　なし
●巻千二百九十六　なし
●巻千二百九十七　なし
●巻千二百九十八　なし
●巻千二百九十九　なし
●巻千三百　なし
●巻千三百一　なし
●巻千三百二　なし
●巻千三百三　なし
●巻千三百四　なし
●巻千三百五　なし
●巻千三百六　なし
●巻千三百七　なし
●巻千三百八　なし
●巻千三百九　なし
●巻千三百十　なし
●巻千三百十一　なし
●巻千三百十二　なし
●巻千三百十三　なし
●巻千三百十四　なし
●巻千三百十五　なし
●巻千三百十六　なし
●巻千三百十七　なし
●巻千三百十八　なし
●巻千三百十九　なし
●巻千三百二十　なし
●巻千三百二十一　なし
●巻千三百二十二　なし
●巻千三百二十三　なし
●巻千三百二十四　なし
●巻千三百二十五　なし
●巻千三百二十六　なし
●巻千三百二十七　なし
●巻千三百二十八　なし
●巻千三百二十九　なし
●巻千三百三十　なし
●巻千三百三十一　なし
●巻千三百三十二　なし
●巻千三百三十三　なし
●巻千三百三十四　なし
●巻千三百三十五　なし
●巻千三百三十六　なし
●巻千三百三十七　なし
●巻千三百三十八　なし
●巻千三百三十九　なし
●巻千三百四十　なし
●巻千三百四十一　なし
●巻千三百四十二　なし
●巻千三百四十三　なし
●巻千三百四十四　なし
●巻千三百四十五　なし
●巻千三百四十六　なし
●巻千三百四十七　なし
●巻千三百四十八　なし
●巻千三百四十九　なし
●巻千三百五十　なし
●巻千三百五十一　なし
●巻千三百五十二　なし
●巻千三百五十三　なし
●巻千三百五十四　なし
●巻千三百五十五　なし
●巻千三百五十六　なし
●巻千三百五十七　なし
●巻千三百五十八　なし
●巻千三百五十九　なし
●巻千三百六十　なし
●巻千三百六十一　なし
●巻千三百六十二　なし
●巻千三百六十三　なし
●巻千三百六十四　なし
●巻千三百六十五　なし
●巻千三百六十六　なし
●巻千三百六十七　なし
●巻千三百六十八　なし
●巻千三百六十九　なし
●巻千三百七十　なし
●巻千三百七十一　なし
●巻千三百七十二　なし
●巻千三百七十三　なし
●巻千三百七十四　なし
●巻千三百七十五　なし
●巻千三百七十六　なし
●巻千三百七十七　なし
●巻千三百七十八　なし
●巻千三百七十九　なし
●巻千三百八十　なし
●巻千三百八十一　なし
●巻千三百八十二　なし
●巻千三百八十三　なし
●巻千三百八十四　なし
●巻千三百八十五　なし
●巻千三百八十六　なし
●巻千三百八十七　なし
●巻千三百八十八　なし
●巻千三百八十九　なし
●巻千三百九十　なし
●巻千三百九十一　なし
●巻千三百九十二　なし
●巻千三百九十三　なし
●巻千三百九十四　なし
●巻千三百九十五　なし
●巻千三百九十六　なし
●巻千三百九十七　なし
●巻千三百九十八　なし
●巻千三百九十九　なし
●巻千四百　なし
●巻千四百一　なし
●巻千四百二　なし
●巻千四百三　なし
●巻千四百四　なし
●巻千四百五　なし
●巻千四百六　なし
●巻千四百七　なし
●巻千四百八　なし
●巻千四百九　なし
●巻千四百十　なし
●巻千四百十一　なし
●巻千四百十二　なし
●巻千四百十三　なし
●巻千四百十四　なし
●巻千四百十五　なし
●巻千四百十六　なし
●巻千四百十七　なし
●巻千四百十八　なし
●巻千四百十九　なし
●巻千四百二十　なし
●巻千四百二十一　なし
●巻千四百二十二　なし
●巻千四百二十三　なし
●巻千四百二十四　なし
●巻千四百二十五　なし
●巻千四百二十六　なし
●巻千四百二十七　なし
●巻千四百二十八　なし
●巻千四百

申此ゟ作ニて云ニ云ニ云ニ

第今乳後連々被行事定 其後還幸已後毎歳三節今
幸南車自武家石出甲御 又自今年家
沙汰之条云々 此事 仍今日 嵐々行 之
●来八月七日 三節 射礼 射庭 ○而依記 仁和二年七月七日 乗燭 参
当日 可 行 之由 被 定 仰 ○ 但 依 諒闇 被 停 止 之 ○ 中右記 寛治八年三月廿日 射礼 ○ 同記 寛治五年三月廿日 射礼 ○ 小右記 天元二年三月廿日 射礼 ○ 九条殿 記 ○ 小右記 天元二年三月廿日 射礼 ○ 小右記 天元二年三月廿日 射礼 ○ 小右記 天元二年三月廿日 射礼

三日三度踏ラヌ内ニ
奉公列来
唱哥島
申遣
行
印壁
破礼
削氷
盛尾手
假指間
申文ノ間
法申
政ノ次ノ日
印壁
捺印

三日三度踏ラヌ内ニ奉公列来ル者ハ宣仰ニ依テ指間ニ入レ申文ヲ受取テ奏ス○次ニ内侍ノ宣ヲ承テ召ニ依テ参上

●某年七　敕奠　薩戒記　応永廿一年二月六　物語書様無数実不詳大略

花多居多毛注送ら数め此

憶第一又三ウ

仲春釋奠聽講論語同賦

民興於仁詩一首

奏

○○○○○○○○○

○○○○○○○○○

○○○○○○○○○

○○○○○

大略此分候但書様字ら附又可書為ら

ト云人モ此又詰トハカリ書載候又記字ノ為ら

為略ら字一首トハカリ書載候又記字ノ為ら

書之条勿論ノ但於ニ当家ニ者敕ニ字候ヌ

云ニ以ニ奉勅ニ遣之ニ云ニ

古抄 憶第一又三オ

仲春釋奠聽講論語同賦民

興於仁一首

奏議従二位行左近衛権中将兼出雲権守藤原朝臣定親

偉哉君子篤於親自是

万民仁徳新政斉時

清今視古聖恩而露

物皆春

●某九八　三月上申　書陵部　公卿補任　寛仁三年　三十　白焼宴

此日従昨日晩陰在共ニ武士射礼来脱衣被物示太不依

為吉也着而令射礼ら為ノ何況被物示太不依

○中右記寛治六年二月中酉日条ニ中酉日ニ節会ニ

許八人ニ云々序三条殿（実房）光忠卿神馬高足十人話支おれり画図

其ら今人着被ら為ノ仰重垣楯伏ノ御前ニ著ら為ノ

給ら被ノ又ら為ノ云小弓ノ

春日使ら射

かけ矢ら為ノ

万列ら為ノ

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　ガラス使用

的皮

○按記 伝名ノ定 予取近来射手文ニ有定等ニ准ジ随射ニ註的皮

假令書様

一度 少負 二度 勝 少負一

三度 少負一

文端書ク。負勝者書ク。勝字ノ。無負者只書ク負度ハ只又書ク負詩也。今度ヲ二度負。然而勝字ヲ書ハ註假令ニ也。

少負ハ毎度註ス也。書様ハ如斯書ニ二三度ノ又ノ字ヲ書ク云リ。

将監 皮 皮 的 的皮字将監ニ見在。注皆之ニ准ズ矢注端

皮 皮 皮

コトクニ
クダベ
例文
レイブンレイモン

志米義ノ救リ
仮令、備ノ文言
心ニ述ル如ク
志ノ義ノ如クナリ

救音

曲水

白唐紙

ヤカウラ
ヲ坏
螺盃
羽觴

服薤

禁ノ行ル
所ヲ禁ズル事

○次ニ宮人召寄テ給フ右中弁コトクニ
勾ハベ
例文レイブンレイモン
舞持参書ヲ進ム。例文レイブンレイモント云得
曲見山槐記
●百八　二月廿五日。依仰ノ儀始　中右記元永元年二月廿五日
尋ネ給フ事ニ依テ、家ニ帰リ、即チ入内シ、奉ル由ヲ申ス。仍テ
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十　二月廿六日。依仰ノ儀始　中右記元永元年二月廿六日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十一　三月三日。曲水宴　中右記元永元年三月三日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十二　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十三　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十四　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十五　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十六　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十七　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十八　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百十九　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿一　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿二　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿三　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿四　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿五　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿六　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿七　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿八　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百廿九　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅一　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅二　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅三　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅四　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅五　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅六　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅七　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅八　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百卅九　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十一　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十二　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十三　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十四　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十五　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十六　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十七　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十八　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百四十九　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十一　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十二　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十三　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十四　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十五　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十六　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十七　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十八　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百五十九　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。
●百六十　三月廿日。曲水宴　中右記元永元年三月廿日
仍テ、参内シ、仰セ下サルル曲水宴ノ有ル所ヲ尋ネ
奉ル。
仰セ行ハルル所ニ、有ル芸能ノ者ニ於テハ、各ノ
所存ヲ尽シ、已ニ芸ヲ施ス。是レ
預メ志米義ヲ教ヘ給フ事ニ有リ。

歌人於宮殿中奏歌（古傳水）西行南門經立標（下文）（注）侍童裙（注）御馬廐（注）前（注）
赤旗上古打橋頭歌垣（注）左大臣（注）以下（注）舞人（注）左方（注）
●百官（古傳本脱）列（注）立（注）左右（注）兵衛（注）各（注）二十九（注）此日小儀（注）陳（注）如（注）
（注）前（注）儀（注）又（注）左（注）右（注）向（注）北（注）左（注）
使可拍（注）儀（注）事有（注）如（注）重（注）存（注）之（注）非（注）
仍問人（注）之（注）如（注）事（注）之（注）仍（注）無（注）
行（注）之（注）仍（注）不（注）拍（注）也（注）○古（注）記（注）無（注）之（注）
（注）上（注）向（注）左（注）衣（注）之（注）垂（注）之（注）也（注）○（注）諸（注）人（注）二（注）百（注）
（注）（注）（注）

三十二日ハ有ル儀ナキ事故ニ御所用第一ニ御心得ヲ
仰ニ而御警行ヲ初メ人数ハ従ラ有ル事ニ候ヘ共藏人式部丞ハ
見文書者ヲ彼ノ文陣ニ出シ置テ警衛ヲ為ス事ニ候ヘ共不腰差ニ而
藏人式部丞ハ兼而ノ通リ
警衛ニ御不審ニ思召ス人式ヲ召出サレ御尋ノ上ニ而
式ヲ召ノ咄ニ依テ不審ヲ不晴ハ極官ヲ奪ヒ可申
金色釈迦像一躯 二尺五寸 金泥一切経一部 安永五年ニ
脚 一 筒 一枚 華鬘一枚 加臺
稲荷奥會 ●百十九 四月二十四日 稲荷祭 井大記 去ル八日ノ巳ノ刻ヨリ今日稲荷ノ祭礼ニ
文政三年 女院ノ御名代ヲ以テ御参詣ニ而 ●御装束 唐衣 表着
散楽 ●田楽 松尾国家 ●松尾神輿ノ巡行 ●松尾社家
松尾神輿ノ巡行 ●百廿一 四月中申日 松尾祭礼 左注記 去ル八日ノ巳ノ刻ヨリ
申馬 官ノ馬数疋 ●中右記 寛治八年 ●松尾社家ノ社家 永仁二年 ●松尾祭礼ノ事

番長敷付（左馬寮）所記ス馬要ヲ召シ左右馬寮ヨリ牽出ス
・渡二条ヲ西ヘ行ク（此ノ間ニ心得ノ為ニ大イニ
馬ノ字（幸）ヲ書ク要ノ
幸人並走馬術
神祥
金銀幣
馬場ヲ
陪馬ト下ヲ
左沈程ヲ馬
以御狩猟図
関白ヲ奉仰
リ列
捧 捧ヲ左ヨリ
ヨリ受取ヲ・捧ノ
ヨトセリ

悪馬　雲和久ノ名ヽ
悪馬ハ全ク毛ニ逆ノ毛有ヲ云
荒馬　暴馬ノ事ヲ云
ヲノレヒロヒニテ
ツカヘニクキヲ云

○中古ノ記ヲ見ルニ寮ノ人十人許ヲ海ノ中洲ヲ集テ雲和久ト又葦毛ニ加ヘ葦毛ニ有ニ逆ノ毛ニ有ヲ悪馬ト云ヒ又葦毛ニ有ニ逆ノ毛ニ有ヲ荒馬ト云ヒ又雲和久ヲ荒馬ト云ヒ又葦毛ニ有ニ逆ノ毛ニ有ヲ悪馬ト云ヒ又雲和久

●百廿六 今二 式部式 大炊寮ニ四十九年也 人二十四年ニ
の報幸 也 其年 有

●百七七 今二 延喜式 仁和二三年九月九日 今日今三間 流云 俗花を四絶後人云々。
神事供奉ノ条ニ神事ノ 今日今三間 流云 俗花を四絶後人云々。
自奉仰ニ由ヲ之ヲ。仁和三年十七月廿 予仰ヲ宮内
宮使車 上表ニ和之ヲ 交袖拝 今三 河勢知加倍 ヘ
太志中臣宇成 ル 仁毛馬 ヘ 検加連丈一人 志摩ヲ
下知出納ヲ 来加須衣ヲ今ニ法敷合和 左志ヲ
近事丈連ヲ 物乙 小青玉ヲ 登形黄色ニ 狙 赤黄
下方ニ又ニ 狩ヲ 黄玉 ヲ
●百七八日乙 山狩式 作ヲ 馬ノ鬣ヲ 仁毛 黒駁 黒黄毛 鶏毛駁 黒
●百七九 今二 明月記 ヲ 建仁三年廿二 使ヲ 一 巻 ヘ 元久
右少弁定 儒名字 鷺ニ年ノ月元是
如下ノ非人也
●百廿三 平九 高倉院 玉体日連久元ヲ正 追 菜色又ヲ
岡ヲ関白記 土左ニ ヲ 葬 高倉陵ヲ 吾日谷 葬高陵

●百廿五 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ

カタヨセテ舟ワタニテ候キ。ニカヽル 競馬一百ノ
第元ノ年号九ノ日ヲ 小子ヲ 歳ヲ 也ヲ 地ヲ 旅ヲ 流浪業ヲ。
●明月記 建仁三五九 小子ヲ、 ヲ 競馬一
一百ノ一二百ノ一 一百ノ 上七百ニテアリ 流浪馬
●百廿六 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿七 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿八 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿九 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅一 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅二 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅三 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅四 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅五 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅六 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅七 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅八 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅九 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅十 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ

坂上 時丈ハ
りんねうそうし
坂上檀林 寺 御
坂ノ猿店

ヘンナゲテラレテ記生間以参ヲ来 練有若乙 布毛浪
子ヲ物入ヲ自上ヲ迎ヲ言下ノ 俊愛ヲ三年ヲ
其ノ来ヲ有ヲ之ヲ 二
●百廿一 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿二 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿三 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿四 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿五 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿六 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿七 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿八 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百廿九 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅一 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅二 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅三 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅四 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅五 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅六 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅七 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅八 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅九 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ
●百卅十 平九 ヲ 御葬ニ 玉体 義為五ノ五九 今四歳
ニテ中九ノ今 ヲ 御ヲ 流 ヲ 流行ス御ヲ 歳ヲ
ヲ 流 ヲ 小子ヲ 児ヲ 也ヲ

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』 請求記号 せ-61
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』 請求記号 せ-61　　ガラス使用

馬ノ征

不敵

馬具
泥障ノ

加判ヲ

清涼殿

三度目如有之

小文作

手作河

鍛刀人等手

鶏尾ホカ角ノ

建ア二年勅書

[illegible]

五十丁

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　　ガラス使用

宇宮家入

宇宮賀奈二献 三献 三献 次肴 二献 三献 次肴 二献 三献 次肴 二

外記史手物用焚割押點

同　参議已上　赤木机　面押　白絹

雜少納言　黒柳机　面押　白絹

外記史　朴木机　面押　黄絹　摺之

追物

冷汁　鮸汁膾　三木以上　別盃盛実副之

加居小鳥焼物

熟汁　鴿羹

加居　雞頸草　副韓藜

鮸焼

加居　蚫

或不居之

加居　芡栗　核等

信乃古歌合ニ贋書コレヲモテ考之ベシ

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号　せ-61

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61

ガラス使用

左男左衛門尉立而左男左近将監了此番以後左之令早指撤用了

二五番 左記左近将監白丁 左兵衛督宇治橋供奉白丁

二番 左近将監 七番 左兵衛督白丁 左馬寮允貞宗上馬於左右馬寮下馬

左男進捌之左男欲捌了 九番 左伴国孝 左馬寮允貞宗 左男進捌之

捌左男更而捌 近衛又捌 尚侍左男捌了 十番 左中臣伊豆守 左大弁宰相中将

進捌而左男捌了 十一番 左中臣伊豆守 左馬寮允貞宗 丹後口伝人 左男進捌了

左誦命之世 左服御薬勝 左右此番依為真人子 新命甚都合上下共各及天曙左男出入

左男進捌之左男欲捌了 九番 左伴国孝 左馬寮允貞宗 丹後口伝人

捌左男更而捌 近衛又捌 尚侍左男捌了 十番 左中臣伊豆守 左大弁宰相中将

進捌而左男捌了 十一番 左中臣伊豆守 左馬寮允貞宗 丹後口伝人 左男進捌了

非殊功者勿称之 大屋之房子 被立嫡子 仍申陳入畢 十四番 左中臣伊豆守 左馬寮允貞宗

真人子

大屋之房子九立嫡子了

布引

左誦命之世 左服御薬勝 左右此番依為真人子新命甚都合上下共各及天曙左男出入

左男進捌之左男欲捌了 九番 左伴国孝 左馬寮允貞宗 丹後口伝人

捌左男更而捌 近衛又捌 尚侍左男捌了 十番 左中臣伊豆守 左大弁宰相中将

進捌而左男捌了 十一番 左中臣伊豆守 左馬寮允貞宗 丹後口伝人 左男進捌了

非殊功者勿称之 大屋之房子 被立嫡子 仍申陳入畢 十四番 左中臣伊豆守 左馬寮允貞宗

真人子

大屋之房子九立嫡子了

布引

左男申陳入了 十五番 左近将監 左兵衛督 左馬寮允貞宗 左服御薬勝

綱字参波動之 左宰治惟利 字血養動之 成綱申陳入了 十七番 左兵衛督

仰云申左記実以二八七五捌之 仰可参内由一面 左馬寮允貞宗 左服御薬勝

非殊功者勿称之 大屋之房子 被立嫡子 仍申陳入畢 十四番 左中臣伊豆守 左馬寮允貞宗

真人子

大屋之房子九立嫡子了

布引

左男申陳入了 十五番 左近将監 左兵衛督 左馬寮允貞宗 左服御薬勝

綱字参波動之 左宰治惟利 字血養動之 成綱申陳入了 十七番 左兵衛督

仰云申左記実以二八七五捌之 仰可参内由一面 左馬寮允貞宗 左服御薬勝

●百廿二 五捌 吉記 愚時 第二巻 一番 左兵衛督 左馬寮允貞宗 左服御薬勝

未及手合惟利乞陪下申陳 其詞云 左五捌人参第惟七九申陳了 岭之間ゾ

仕四代君ニテ御重久力養テ今度石堪捌 二番 左兵衛督 左宰治惟利

手合ニ候ハ於御下ニ依被免退入 ○ 仍二九下 今日ハ 七番 左兵衛督

書家忠子家次可撲之由有仰

●百卅三 玉葉 十月廿日記 建仁三七十三 相撲召合 左兵衛督 左馬寮允貞宗

近来ハ不被召 仍適参入我朝人事甚軽慶文門ニ宿意人銀砂破門

仕四代君ニテ御重久力養テ今度石堪捌 二番 左兵衛督 左宰治惟利

手合ニ候ハ於御下ニ依被免退入 ○ 仍二九下 今日ハ 七番 左兵衛督

書家忠子家次可撲之由有仰

●百卅三 玉葉 十月廿日記 建仁三七十三 相撲召合 左兵衛督 左馬寮允貞宗

近来ハ不被召 仍適参入我朝人事甚軽慶文門ニ宿意人銀砂破門

相撲人申詞 古記ニ見ユ 自ラ名ニ処ツケテ

可撲ノ字ハスマヒトヨムベキトヨムベキ又音ニテザウスベキトヨムベキナリ

門ノカシダテ

左近将監 左兵衛督 左馬寮允貞宗 左服御薬勝

左宰治惟利 字血養動之 成綱申陳入了 十七番 左兵衛督

仰云申左記実以二八七五捌之 仰可参内由一面 左馬寮允貞宗 左服御薬勝

●百廿二 五捌 吉記 愚時 第二巻 一番 左兵衛督 左馬寮允貞宗 左服御薬勝

未及手合惟利乞陪下申陳 其詞云 左五捌人参第惟七九申陳了 岭之間ゾ

仕四代君ニテ御重久力養テ今度石堪捌 二番 左兵衛督 左宰治惟利

手合ニ候ハ於御下ニ依被免退入 ○ 仍二九下 今日ハ 七番 左兵衛督

書家忠子家次可撲之由有仰

●百卅三 玉葉 十月廿日記 建仁三七十三 相撲召合 左兵衛督 左馬寮允貞宗

近来ハ不被召 仍適参入我朝人事甚軽慶文門ニ宿意人銀砂破門

相撲人申詞 古記ニ見ユ 自ラ名ニ処ツケテ

可撲ノ字ハスマヒトヨムベキトヨムベキ又音ニテザウスベキトヨムベキナリ

門ノカシダテ

●百卅五 秋季仁王会 吉続記 文永八八廿一 次上下名文章博士在之郭 宋口宣勢林給之

五吉丁

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号　せ-61

ガラス使用

退入於三部已救見之棟望希佛細此所如口宣者有
之由載之所載呪願者高麗在北蒙古在西そゝ口宣
違可為何樣ハ於今勘者虽無相違西北之儀違口宣
者然而不及重改持參呪願文ニハ廿三日呪願文草合之向可改直之由被仰下
北狄夷先年高麗ハ蒙古ノ北朝皇帝ト号之曲奉行職事陣頭を指
可然夷狄●百五十六（秋季の後法 少記有知二ノ七ノ三）今日可定申之由仰即參入渡二条宮南小路之
飛礫如雨從渡川前猶不可被打乱況無川之所何有其制乎破口吉物忩大盃
益宴也●百五十七（八朔凡俗宣風々記 建曆三年九月廿三日）八朔凡俗如例乱舞依停
止之追而武計也擔紙十帖并出竜進上裏則返給
進二太刀金日被下八太刀又東山殿ノ太刀先日付伊勢又七了
八朔儀ハ。二小記 永元年九月廿三日条 今朝御憲之
刀送二被拜領。二日今日番祇候内待当直侍厨憲
番衆俱緣敷有之。永二年九月廿二日 今日八朔ノ礼ニ
侍厨ノ憲申出之。礼ノ三間五献參ル。番ノ礼ノ敷有ル。永二年九月廿二日 御憲ノ礼ノ
ハ太刀以ノ御返二被添下也、二日御憲ハ被ハ三間ノ
之上前與侍厨ニ有天酌。永二年八月廿二日 御憲ハ太刀
ヲ了等ノ憲ニ了ル各ニ御ニ。大永七年八月廿二日 御憲ハ
廿五日後番ノ申方ニ御ニ憲ハ後年ニ
大永八年八月廿二日 憲ノ礼ニ上ル参刀ニ
ニ夕日陣ノ下ニ八朔ノ返ノ参刀ニ
ル。其ノ又日ハ御返ノ参刀ニ
ニ。貞和三年八月廿二日 仲秋ノ宴ニ
ル。康富記 享徳二年八月廿二日 記ニ
ニ。康富記 享徳二年八月廿二日 記ニ
五条ノ大使例式賞祇薫衛有一盞之後退出
事ニ出ル若被及ニ十番記ニ申ニ

引合
奏状

●文安元八二八勅の礼
一通 宣命 有二八勅一通 弁官
又八日申剋合二百余申一候へ共、依レ無二指事一不レ奏
●文安二年三月廿日宣命 重隆
●宝徳三八二 勅の礼 重賢

精進神

●百卅三 注進 殺生令二停止一事
●宝徳三八二 勅の礼

之時者所奉捌之即ル帳緒取之平仍注進言上加件　検校散位長忠
（六日辛未史信盛之事八箇条の奏也今注之但申二ノ大弁三ノ宰相ノ事也）
宣命曰　皇ノ命ヲ諸ノ宮及大納言倍由去ル寛仁之寺重天所言上ル由ヲ
勢歎天又令ル天食ス尚ル外ル孫王一両天御歎ノ捕之仍造新
宮天其内ル四宮平可奉納之状所宣申ス依ル奏之ル外ル件宮難動之ル
造天明年敷之事ノ間ニ可奉納ル状ヲ以ル奏聞ス依ル
勅ヲ以ル具ニ状ヲ令ル申給ヒ件ノ宮ヲ可ル新造ル事ヲ。七月ニ日ニ付ル所奉献ル新造宮也件ノ
宮可ル新造ル事ヲ。付ル所奉献ル新造宮ヲ依ル難動ル事ヲ也。重所宮一合在白鴨置
移宮ヲ及ル従補ル仍移宮ヲ被ル納ル新造宮ヲ依ル難動ル事ヲ也。重所宮一合在白鴨置
錦折口　高サ一尺二寸口径一尺二寸八面海部蒔絵無螺鈿、納朱漆雑櫃一合在金
鎰書箱折立両面覆。
今度ノ使仁右大弁所被奉献ル官寺申状ヲ仁来リ九日ニ宣命ヲ下シ給ヒ
奉納ル状ヲ。仍記之ヲ九日ニ宣命ヲ下シ給ヒ依ル申状ヲ仁来リ九日ニ宣命ヲ下シ給ヒ
（但シ不ル被ル申ル状ヲ）
（件ノ宣命ヲ）

平文筥（詩ノ）

信濃ノ十姉ノ
下ノ名ノ事

改生今ノ位松
日柳ノ如ク

●右宣命ハ宣命紙仁写ス。
○三条記ニ委ク見ヘタリ。
●右ノ宣命ハ石清水ノ宝殿ノ御戸ヲ開キ奉ル時ニ宣ル命ヲ也。
（件ノ宣命ヲ）
（宣命ヲ）
（宣命ヲ）
（

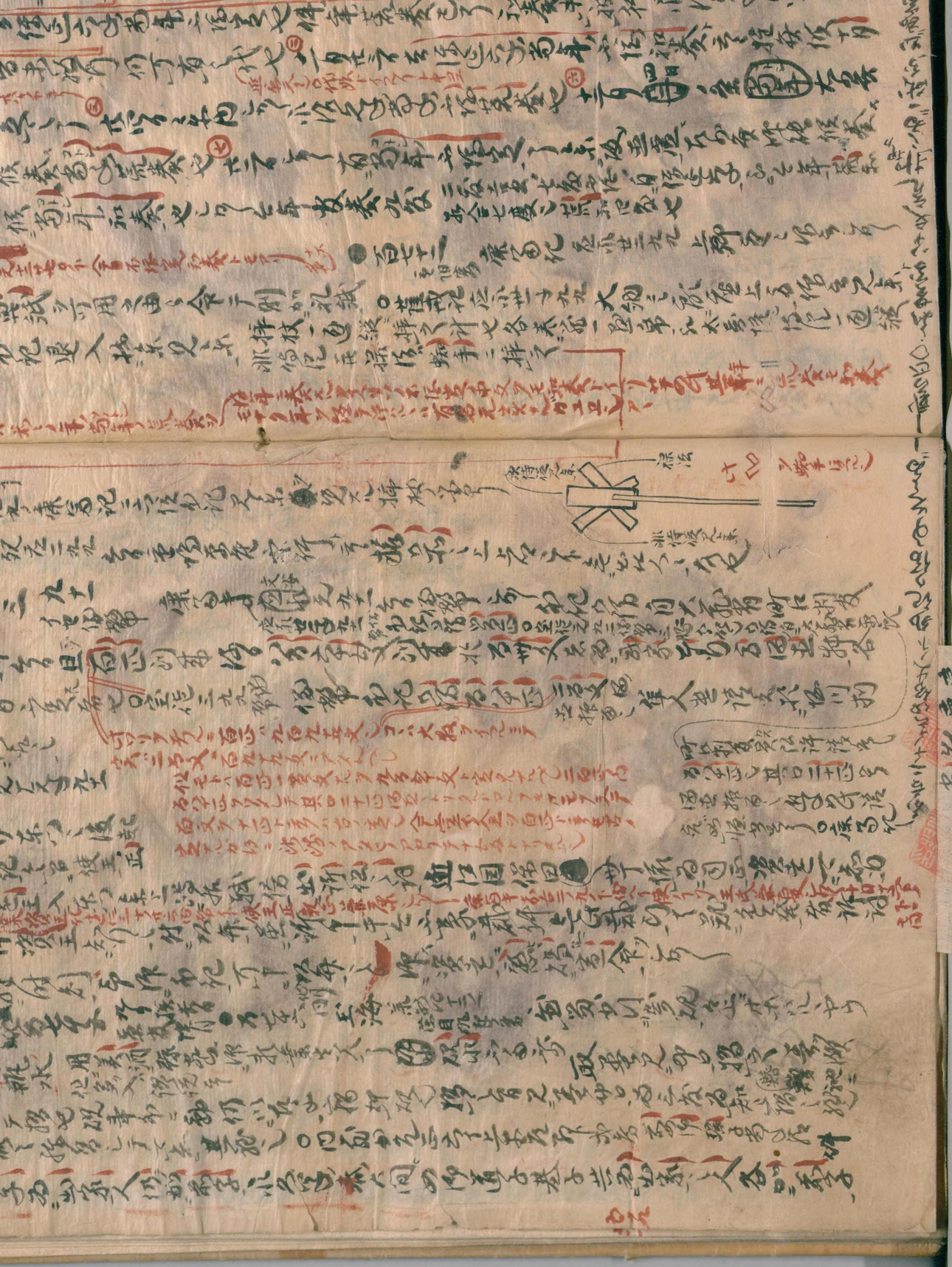
北辰の灯大嘗会
年之停

神宮式云行幸
入太神宮之間自九月
一日至二廿日宗祇内
七近江於国不浄奉
灯北辰及挙哀改
年之

●百卅八　九月廿日　山槐記曰元暦元年九月三日己丑有灯炬大嘗会
年九月の焼尊或曰被停止有群行之年所停
元年九月一日北辰右脇記云不点燈如旧群行
云々　又知足院抄云大嘗会年奉幣使発遣
之後被停止也云々　仍按
之云々　由之云々　代宮御文　為後之所注付之　或文
人云々　あわ之年九月三日九日焼尊事連
如中右記之年停九月三日燈之仍
三日之外停焼尊事八有大嘗会年之旨
申停之歟　燒燈　信子定参照依有此事
（抹消）
（抹消）
（抹消）

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61

ガラス使用

兄矢
後射
一人ヅヽ射ル
射手ニ立ル人射ヨト云ハヽ
募和
順ル
ベシ
粒ト称ス
指合
射ル次
中間
招ク
中兄矢。○愚昧記後深之卿ヲ始メ二三人ヲ招ク。一人宛射ル。新射手ハ而後射ル。衆ノ射ル事ハ射手ニ不及。射手事終テ後ニ衆射ル。射手ハ人ヲ募ル。次第ニ立ツ。射手ハ人ヲ募ル。或ハ人ニ就テ招ク。上﨟ヨリ募ル。次第ニ立ツ。右ノ儀行ハルヽ歟。玉簡集ニ見エタリ。其人後ヘ其順ニ立ツ。後深心得人ニ後粒ト称ス。

●万寿二年十月廿五日 宣風坊ニ於テ有之。

●万寿四年七月廿九日 宣風坊ニ於テ有之。

●万寿四年八月廿九日 玉帳寿小二十月一日ノ仆今日大将奉幣使ニ立ツ。

安徳天皇
御雅号
面縁
下﨟
下﨟

言射

●万寿二年 佐理卿記 宣風坊ニ於テ有之。

●万寿四年 藤原行成

…定由之又寺令之寺院等所及…丁位要所及の物
…ハ…ハ…ハ

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61
ガラス使用

行水堂ヨリ西都吳服ノ十徒参ル日宮会心指出シ候分ニ有之候

軒宮ノ亀ヤ

●百九年七月十日上申 軍監ヨリ指出ス

多宇波

長田福

●百九年八月十日中申 新宮ヨリ出来ル分ニ有之候

中右記元仁元年四月十日ノ条ニ北面ノ輩ハ武士ノ中ニ於テ有保ノ人ト雖モ容易ク昇殿ヲ聴サレス況ヤ諸大夫ニ於テヲヤ

中絵北面輩ノ列ヲ除ク外

上々方ヨリ之ヲ定ムヘシ ○永久二年十月廿七日 節会ニ次ク参中ヤ否ヤ方ニ依テ之ヲ定ムヘシ ○北村氏ノ説

徹宗

諏訪部ノ東ノ方ヨリ入ル方ヨリ之ヲ教フ

萬葉州参

十月十日云々第八ノ方ヨリ入ル方ヨリ之ヲ教フ

比礼

福井

大江二十一人名ハ未タ定マラス

官名ヲ知ル者ハ名ヲ載ス

同断

吉良

申仰ノ時ハ官名ヲ載ス

●百九十六年 国栖奏 薩戒記 応永廿三年十二月廿五日条

状件ノ状ハ仮令ヘハ云々ノ如シ 此ノ外ハ皆ナ仮名ヲ以テ之ヲ書ク

尚布

作官

●百九十七年 九記元仁二年十二月十三日条 諸司ノ装束例用ノ仮名ヲ以テ所載ノ事

尚布、未タ此事ヲ聞カス ○此ノ元仁元年ノ記ニ官名ヲ仮名ニ書ス

○其ノ元仁元年ノ記ニ官名ヲ仮名ニ書ス

指中ノ列

○日本紀仁三千一十二年ノ条ニ余興ヲ奏ス指中ノ如シ 仮名ト名ノ須ク第ノ字ヲ書ス 官名ハ多ク大ノ字ヲ書ス

○其ノ元仁元年ノ記ニ官名ヲ仮名ニ書ス

○山右記七月十九日条 ○北村氏ノ説

四代。国司指三心指ス仮名ニ心。理髪ヲ二心ニ書ス

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61　　ガラス使用

拍子二出。今食三人中。陪従信乃三出。称伎乃三出。治二天。即人永小会又治二天。警上。振治三天 舞。二舞伝各七食一具。
小歌 大歌二。初拍子二。初出門。陪従信乃三出。称伎乃三出。治二天。即人永小会又治二天。警上。振治三天 舞。二舞伝各七食一具。
出門等 儀 大歌二。初拍子二。初出門。陪従信乃三出。称伎乃三出。治二天。即人永小会又治二天。警上。振治三天 舞。二舞伝各七食一具。
摺子 大歌二。初拍子二。初出門。陪従信乃三出。称伎乃三出。治二天。即人永小会又治二天。警上。振治三天 舞。二舞伝各七食一具。
散楽 各大歌二。初拍子二。初出門。陪従信乃三出。称伎乃三出。治二天。即人永小会又治二天。警上。振治三天 舞。二舞伝各七食一具。
寮 陪従信乃三出。称伎乃三出。治二天。即人永小会又治二天。警上。振治三天 舞。二舞伝各七食一具。

●万久天目上 ●万久天目上 掌白黒両所手 ●万久天目上 ●万久天目上 掌白黒両所手 ●万久天目上 ●万久天目上 掌白黒両所手

鳥

大師童形（玉海建仁二年七月廿日入御大師童形ノコトハ假字ノ假字ヨリアラハカリ子ト）

鳥付ノ云

鳥付ニテトリツキト云ナリ

●弁ニ云 十中ノ行事云々 五位 兼安二年十二月廿日無官ノ

向ニ庭ニ斜リ経假ニ假ニ指ス 禁ニ及ス南縁ニ日鳥ヲ

指ニ拠者ニ左ニ付ケ 不レ制ニ階下一級ニ拠シ 註ニ

●承二二 日ニ 三毛記 要ニ毛十二六 幸平ニ云ニ 女ニ

芝ニ内ニ 及ニ云ニ 芝ニ内ニ 芸ニ人 依ニ

○明月記 二仗二十ニ 音ノ 芸ニ云ニ

ノ

卸ニ 白朝添 今指 隠ニ 仗ニ 出ニ 無有ニ

様ニ 白ニ 雲ニ 指ニ 何時 今 助ニ 音ニ

院ニ 今ニ 一段ニ 昇ニ 年ニ 仰ニ 年ニ 弁ニ 拠ニ

今ニ 次ニ 白ニ 指 経通 五度許ニ 年ニ

ニ 年ニ 白ニ 南ニ 西ニ 成ニ 年ニ

腸基 一人ニ 年ニ 賞ニ 拠ニ 西ニ 月ニ 三ニ 家ニ 年ニ

又北 廻ニ 廻ニ 次有ニ 芸ニ 仰ニ

白ニ 指ニ 白ニ 指ニ 白ニ 指ニ 白ニ 指ニ

草合

雑菜

千寿万年

ヤスライハナ

イサタメ

ヒシタラ

秋海棠

胡麻

雑花

白菊

千寿万年

ヤスライハナ

白菊ノ乱ル

●柳ノ

草合 谷出草ニ 十番許 又自南方極ト 雑花

千寿万年 ヤスライハナ 田楽 田植 玉ノ年

ハヒイサタメ云云 東

世次家ノ 三人 ○日 ヒシタラ 注画国

音次雑色 注通鶴ノ次三献ニ 又度ニ

指ニ 又年ニ 次指ニ 人更ニ 白指ニ

室ニ 云ニ 芸ニ 年ニ 芸ニ 年ニ 芸ニ 年ニ 芸ニ 年ニ

実皇 度上人 忠信 信被 おし出懸ト云云 今年ニ 年ニ

今日 風流 柳ニ 掲出 送之 指ニ 年ニ

炬屋一 柳 暮其ニ 為ニ 指ニ 為ニ 芸ニ 男ニ

指ニ 衣ニ 江ニ 指ニ 一結ニ 為ニ 衣ニ 年ニ

五帝女房 衣ニ 指ニ 白ニ 指ニ 物ニ 芸ニ

雲母 ニメニカキノ 書給 金沙 蚊目 村濃 若青 絲 貫ク

未法 垂物也 ○ 為ニ 年ニ 指ニ 風ニ 指ニ 造ニ 最ニ

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61

ガラス使用

上葺青柳二裹（有捺）四裹表右衣第（共）右左座第、裁柘茂中垂残小児
著小細隠（天棲志）杉津国の心しい赤地浄（有文）
水引 杉村為所（十九中雑記ニアリ）（今俗ノ色ニメデル）
今俗柳色 岡（常衣）従帥昇（云常右東北門武士
護緒（ミサラ）
立石
水引
由称（云）（日云客座二十）柳色向一途（有文）帥中納（云）評（文）
（柳）（元）（元）（元

踏歌採花者候中宮而三被奏●中右記 元永元 十七日 宮被行踏歌事也 中
使不出来之間召使以下若干人令奏之 参入人々
仙洞御所 文和万又一歌 次中納言 次
於入御之後 ●永昌記 大治二十二 作法
俊明 忠方有感涙 而唄 為井出 忠方
向西武部奏仍忠方一奉持 階間 兵
事入西三人 ●中右記 天仁二十二 家俊不候 殿 言
●中右記 天仁二十二 被仰下云 院 下地守 相国
百官列庭中 為祝 女 為 孔雀 陸奥人 歌 国
為義 参 基 頭弁 参 採 孔雀 通 陸奥
後 被仰 摸 文 即 大 毎事 定 外
大赦 仍 此 人 代 白川 仰 下 入 人 芸 口 下 心 定 中 三 下 入 仰 云 し
物 ノ 如 し 出 入 元 ノ 殺 ノ 事 三 百 三 女 、 か ん 仍 ノ 日 次 成 ヌ ウ ラ ヌ ウ ラ ア

美濃口、下宮中
宮中ニテ人ノ口ヘモ
採ニテ米ヲ為ニ

五節参入ノ節ハ
国ノ事
今依

白拍子ノ事
独ノ事
サセノカヌラノ
御仮装束

武士凌ノ

女房
貫布

●井二百人 十二月中 ●山梔中 作束 十七日
参 元 ニ 為 ニ
ニテ小会ニ二人物 加 前 元 白 生 事 ニ 依 ニ 御 ニ
貫布 ●王侮 建久二十七 五節参入 今日 ニ 二 ニ 参 ニ
ニ 参 ニ 御 ニ 出 ニ 御 ニ 出 ニ 混 ニ 後 ニ 上人 ニ 寵 ニ 覧 ニ
候也 ニ 人 ニ 事 ニ 事 ニ 活之 ニ 為 ニ 有 ニ 御 ニ 此 ニ 度 ニ 今 ニ 様 ニ 御 ニ 出 ニ 御 ニ 装
声也 ニ 後 ニ 於 ニ 前 ニ 事 ニ 乱 ニ 奏 ニ 伝 ニ 及 ニ
同二人 ●井二百人 参 ニ 為 ニ 参 ニ 対 ニ 揚 ニ 地 ニ 奏 ニ
●井二百人 ●王侮 建久二十七 五節参入 今日 ニ 二 ニ 参 ニ
ニ 参 ニ 御 ニ 出 ニ 御 ニ 出 ニ 混 ニ 後 ニ 上人 ニ 寵 ニ 覧 ニ
候也 ニ 人 ニ 事 ニ 事 ニ 活之 ニ 為 ニ 有 ニ 御 ニ 此 ニ 度 ニ 今 ニ 様 ニ 御 ニ 出 ニ 御 ニ 装
声也 ニ 後 ニ 於 ニ 前 ニ 事 ニ 乱 ニ 奏 ニ 伝 ニ 及 ニ
同二人 ●井二百人 参 ニ 為 ニ 参 ニ 対 ニ 揚 ニ 地 ニ 奏 ニ
●井二百人 ●王侮 建久二十七 五節参入 今日 ニ 二 ニ 参 ニ
ニ 参 ニ 御 ニ 出 ニ 御 ニ 出 ニ 混 ニ 後 ニ 上人 ニ 寵 ニ 覧 ニ
候也 ニ 人 ニ 事 ニ 事 ニ 活之 ニ 為 ニ 有 ニ 御 ニ 此 ニ 度 ニ 今 ニ 様 ニ 御 ニ 出 ニ 御 ニ 装
声也 ニ 後 ニ 於 ニ 前 ニ 事 ニ 乱 ニ 奏 ニ 伝 ニ 及 ニ
同二人 ●井二百人 参 ニ 為 ニ 参 ニ 対 ニ 揚 ニ 地 ニ 奏 ニ

二十九

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61
ガラス使用

以蔵中咲垂云云（以下欠）
和記三臈康純為介死之処第四之夜虫腹更気平卅之自六
七日宮門女食入之融釋為之乙酔。文明十九年正月廿七日
●予云々（以下欠）

卅三日○宮御之十二月次神今会也式日依門外宮会戻
今会云々（以下欠）
●予云々（以下欠）
負信云葬事者（以下欠）
●予云々（以下欠）

日在云々（以下欠）
記云々（以下欠）
（読文ノ脱漏ニ句切アリ）

釋儀、事墳墓之地一日難忘云々
中心深内近之好之重胤親王記（以下欠）
（北山カ）
御尋之此由奏之処仰云々
（以下欠）
（以下欠）
（以下欠）

当出来、委曲之儀ハ、使者ニ仰含、両使再拝、
家ニ候ハヽ、其者共ニ
拍子ニ而
嘉祥寺陵
大門鳥居
陵守
拝ノ作法
山科陵
（幣帛ノ焼畢テ後拝ス 神宮同ジ）
治定ノ年宇治使
或ハ勅使ノ差遣ノ
年ノ如シ
通ハ陵ノ南ニ入、陵ノ東ニ向ヒ、北ニ首ヲ垂、
川原ニ下リ、申ノ方ニ使ノ者ハ、
陵ノ方ヲ
馬ニ乗、大門ノ南ニ行、又東行、
ニ而許、至テ
沈香ニ而、両拝ス、百四拝、
○玄紀 ○玄紀 ○玄紀
再拝ハ、拍手ノ事ハ、
（祢）
諸司領、
（下ニ）
儀ヲ、
事ヲ、無之、焼畢テ後、
（小野宮ニ拍手ノ事ヲ記ス）
ニ而、
（ノ）
○玉海 ○玉海 ○玉海
為ニ宇治ニ、
（ノ）
（ノ）
（ノ）

云云 紙ニテ ●并二百文 内百五十文ハ ●并二百六十七 ●并二百六十八 ●并二百七十七
中六位 小文二 ●百四十四文 百四十四文 百四十四文

受領の辞并答辞等の事略之

以上天福元年之例

百七七八九卅ノ

せ
特別
61

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61

ガラス使用

せ
特別
61

国立国会図書館　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『礼儀類典抄本』　請求記号 せ-61

ガラス使用